

# 掲載論文に関する図表の資料

掲載学会誌

日本医療情報学会 35 巻 3 号

表題

成人生体肝移植レシピエントの診療知識に関する  
実用性を考慮した情報項目の提案

筆頭著者名

中田知廣

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-1)

検査		コメント	治療		コメント		
血算	WBC		栄養	飲水	制限あり (一日〇〇ccまで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者	
	RBC			食事	肝硬変非代償期 食事		
	Hb				肝硬変代償期 食事		
	Hct				肝炎食		
	PLT			経腸栄養	アミノレバン	検査前一食から絶食	
	Ret			インバクト		他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者	
	血液像	異常時: 骨髓検査				他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者	
生化学	TP		内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
	Alb(A/G比)			注射	頓用注射薬	ソルラクト	CT用
	CHE		ソルデム3A		血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)、CT用		
	AST(GOT)		ノボリン4単位		血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)、CT用		
	ALT(GTP)		リハビリ	手術前リハビリ	ADL下げないように		
	LDH		安静度	フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK			
	r-GTP			病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者		
	ALP		入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー		カテ・チューブ類挿入患者	
	AMY			洗髪のみOK			
	LAP		書類関連	造影CT撮影同意書			
	T-Bil			HIV採血同意書			
	D-Bil			PT申込書			
	OPK		指導、IC	栄養指導			
	T-Chol			薬剤指導			
	TG			現状(肝硬変)に対するムンテラ			
	UA						
	BUN						
	Cre						
	Na						
	K						
	Cl						
	Ca						
	Mg						
	Fe						
	CRP						
	TBA						
	NH3						
BS							
HbA1c							
凝固系	PT						
	APTT						
	ATIII						
	Fib						
血液型	ABO Rh(D)						
	HCV-AB						
感染症スクリーニング	HBs-Ag						
	HBs-Ab						
	HBe-Ab						
	HBe-Ag						
	HBc-Ab						
	HIV						
	HTLV						
	RPR・TPHA						
	Schistosoma Antibody	エジプト人患者					
	腫瘍マーカー	AFP					
CEA							
CA19-9							
PSA		男性患者					
CA15-3		女性患者					
CA125		女性患者 or 腹水患者					
PIVKA-II		HCC患者					
AFP (L3)	HCC患者						
尿	尿定性、沈査						
便	便潜血						
生理機能検査	12誘導心電図	虚血性心疾患既往歴					
放射線検査	胸部Xp						
	立位						
	腹部Xp						
	立位						
	臥位	胆癌患者。HCC以外の癌疑いの場合GIF, CF, MRI, PET, FNHとの鑑別などMRI。					
	造影胸腹骨盤CT						
MMG	女性患者。乳癌既往歴or乳癌家族歴or35歳以上or以前の検査が一年以上前						
痰・胃液培養、鏡検	喀痰塗抹、チール・ニールゼン染色検査	結核感染ハイリスク患者					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-2)

検査	コメント	治療	コメント
血算	WBC	栄養	制限あり
	RBC	食事	制限あり
	Hb	内服・外用	持参薬
	Hct		持参薬の継続
	PLT	注射	ソルラクト
	Ret		基本輸液
	血液像		基本輸液
生化学	TP	処置	心電図モニター
	Alb(A/G比)		酸素飽和度モニター
	CHE		酸素投与
	AST(GOT)	安静度	絶対安静
	ALT(GTP)		入院時書類一式
	LDH	書類関連	HIV採血同意書
	γ-GTP		ICU入室申込書
	ALP		HCU入室申込書
	AMY		栄養指導
	LAP		薬剤指導
	T-Bil	指導、IC	現状(肝硬変)に対するムンテラ
	D-Bil		急性肝不全に関する治療の内容:ムンテラ、同意書
	CPK		Child
	T-Chol		MELD
	TG		JCS
	UA	スコアリング	ALF分類
	BUN		移植適応評価(Kings college, 日本)
	Cre		肝性脳症staging
	Na		APACHE score
	K		Anion Gap, Osmolality gap, Na再吸収率
	Cl		OG=実測浸透圧-(Na*1.86+BS/18+BUN/28)
	Ca		
	Mg		
	Fe		
	CRP		
	TBA		
	NH3		
	BS		
	HbA1c		
	B2MG		
Ccr			
U-Cu	必要時		
Ceruloplasmin	必要時		
ANA	AIH疑い時(IgG, 抗DNA抗体, pANCA追加)		
SMA	AIH疑い時(IgG, 抗DNA抗体, pANCA追加)		
LKM	AIH疑い時(IgG, 抗DNA抗体, pANCA追加)		
TIBC			
Ferritin			
proteinC/proteinS	必要時		
アセトアミノフェン濃度	必要時		
クームス試験	必要時		
フィッシャー比	BCAA/AAA		
凝固系	PT		
	APTT		
	ATIII		
	Fib		
ヘパラスチンテスト(HPT)			
血液型	ABO Rh(D)		
	HCV-AB	必要時	
	HBs-Ag	必要時	
	HBs-Ab	必要時	
	HBc-Ab		
	HBc-Ag		
	HBc-Ab		
	HIV		
	HTLV		
	RPR-TPHA		
	Schistosoma Antibody	エジプト人患者	
	CMV-IgG(blood)		
	CMV-IgM(blood)		
	EBNA		
EA-IgG			
VCA-IgG(血液)			
VCA-IgA(血液)			
VCA-IgM(血液)			
HSV-IgG(blood)			
HSV-IgM(blood)			
全血(1→3)-b-D-グルカン			
endotoxin			
CMVアンチゲネミア			
血液ガス	PaO2		
	PaCO2		
	pH		
	BE		
ラクテート			
腫瘍マーカー	AFP		
	CEA		
	CA19-9		
	PSA	男性患者	
	CA15-3	女性患者	
	CA125	女性患者 or 腹水患者	
	PIVKA-II	HCC患者	
AFP(L3)	HCC患者		
尿	尿定性、沈査		
	U-Cr(24hr)		
	U-Na(24hr)		
	U-β2MG		
U-NAG			
生理機能検査	ドップラーエコー	検査項目(肝臓の萎縮、動脈亢進、HV、IVC狭窄の有無、側副血行路、眼球(視神経))	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-3)

検査		コメント	治療		コメント	
血算	WBC		栄養	アミノレバ		
	RBC			経腸栄養	インバクト	
	Hb				グルタミン酸	
	Hct			口腔内ケア	イソジンガーグル	
	PLT				コンクール	
	Ret				ファンギゾンシロップ	
	血液像				下剤	ラクツロース
生化学	TP		内服・外用	酸化マグネシウム		
	Ab(A/G比)			抗生剤	バクトロバン	鼻腔に塗布
	CHE				カナマイシン 4g分4	NGより注入
	AST(GOT)			粘膜保護薬	アルロイドG	
	ALT(GTP)				ガスター	
	LDH				タケブロン	
	γ-GTP				アミノレバ	
	ALP				PNツインなど	
	AMY				強カミノファーゲン100ml/日	
	LAP			ガスター/オメプラール		
	T-Bil			ビタミン(B1, B6, C)		
	D-Bil			グルカゴン		
	CPK			K2N		
	T-Chol			メイロン		
TG		プロボフォール				
UA		ベルジピン				
BUN		生食 50ml				
Cre		ノボリンR 50U	血糖管理必要患者群			
Na		抗ウイルス薬				
K		抗真菌薬				
Cl		アルブミン				
Ca		ハンブ				
CRP		イノバン				
NH3		ノルアド				
BS		FOY				
凝固系	PT		注射	エラスボール		
	APTT			マンニトール		
	ATIII			グリセロール		
	Fib			ラシックス		
	ヘパラスチンテスト(HPT)			アレピアチン		
感染症スクリーニング	HBV-DNA quantitative	HBV患者		ソセゴン		
	HCV-RNA quantitative	HCV患者		筋弛緩薬		
	HCV genotype	HCV患		リドカイン		
血液ガス	PaO2			ミリスロール		
	PaCO2			ビソルボン		
	pH			ソルラクト 500ml	(用法)ラインキープ用	
	BE			ノボヘパリン 1000U		
腫瘍マーカー	ラクテート		処置	BISモニター		
	AFP			挿管		
	CEA			IVH		
	CA19-9			S-Gモニター		
	PSA	男性患者		クイントンカテーテル挿入		
	CA15-3	女性患者		Aライン挿入		
	CA125	女性患者 or 腹水患者		ドレーン管理		
	PIVKA-II	HCC患者		NG		
	AFP (L3)	HCC患者		腹腔ドレーン		
	尿	尿定性、沈査				胸腔ドレーン
U-Cr(24hr)				尿道バルーンカテーテル		
U-Na(24hr)				人工呼吸器 設定		
U-β2MG				HD		
U-NAG				CHDF		
生理機能検査	ドップラーエコー			CHF		
	脳波			PE		
病理検査	BISモニター波形計測			DFPP		
	肝生検			MARS		
内視鏡検査	GIF		輸血	赤血球MAP		
	気管支鏡			FFP	PT<25%で開始、40%以上をキープ	
放射線検査	胸部Xp			血小板		
	ポータブル・臥位		リハビリ	拘縮予防、尖足予防		
	腹部Xp		安静度	頭部挙上 (HOB>30)		
	ポータブル・臥位			絶対安静		
	頭部CT					
	単純CT					
	造影腹部-骨盤CT					
細菌検査	単純腹部-骨盤CT	腎機能異常患者群				
	口腔、気管、尿、便					
	血液					
	腹水					
	胸水					
	カテーテル先					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-4)

検査		コメント	治療		コメント	
血算	WBC		栄養	飲水	クリアウォーター一日1Lまで	
	RBC			食事	肝不全食	
	Hb			経腸栄養	アミノレバン	
	Hct				インバクト	
	PLT				グルタミン酸	
	Ret			内服・外用	口腔内ケア	イソジンガーグル
血液像			コンクール			
生化学	TP			ファンギゾンシロップ		
	Alb(A/G比)		下剤	ラクツロース	NGより注入 or 注腸	
	CHE				酸化マグネシウム	
	AST(GOT)		抗生剤	バクトロバン	鼻腔に塗布	
	ALT(GTP)				カナマイシン 4g分4	内服
	LDH		粘膜保護薬	アルロイドG		
	γ-GTP				ガスター	
	ALP				タケブロン	
	AMY		注射	アミノレバン		
	LAP				PNツインなど	
	T-Bil				強カミノファーゲン100ml/日	
	D-Bil				ガスター/オメプラール	
	CPK				ビタミン(B1, B6, C)	
	T-Chol				グルカゴン	
	TG				K2N	
	UA				生食 50ml	
	BUN				ノボリンR 50U	血糖管理必要患者群
	Cre				抗生剤	
	Na				抗ウイルス薬	
K				抗真菌薬		
Cl				アルブミン	血液製剤類(血液製剤管理簿対象)	
Ca				ラシックス		
CRP				ピソルボン		
NH3				ソルラクト 500ml	(用法)ラインキープ用	
BS			ノボヘパリン 1000U			
凝固系	PT		処置	IVHライン挿入		
	APTT		輸血	赤血球MAP		
	ATIII				FFP	PT<25%で開始、40%以上をキープ
	Fig				血小板	
	ヘパプラスチンテスト(HPT)		リハビリ	手術前リハビリ		
感染症スクリーニング	HBV-DNA quantitative	HBV患者		安静度	病院内	
	HCV-RNA quantitative	HCV患者	書類関連	IVHライン挿入説明・同意書		
	HCV genotype	HCV患				
生理機能検査	ドップラーエコー					
	脳波					
病理検査	肝生検					
内視鏡検査	GIF					
	気管支鏡					
放射線検査	胸部Xp					
	立位					
	腹部Xp					
	立位・臥位					
	頭部CT					
	単純CT					
	造影腹部一骨盤CT					
	単純腹部一骨盤CT	腎機能異常患者群				
細菌検査	口腔、気管、尿、便					
	血液					
	腹水					
	胸水					
	カテーテル先					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-5)

検査	コメント	治療	コメント		
血算	WBC	栄養	絶飲食	肝生検時検査前指示: 飲食: 1時間前から絶食, 検査終了後2時間後より飲水可, 3時間後より食事可 注射: ソルデム3A負荷, 糖尿病患者はノボリンR混中	
	RBC		飲水	制限あり (一日〇〇ccまで)	
	Hb		食事	肝硬変非代償期 食事	
	Hct		食事	肝硬変代償期 食事	
	PLT		検査	肝炎食	
	Ret		検査	造影CT検査	検査前一夜から絶食
	TP		経腸栄養	アミルルパン	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者
Alb(A/G比)	内服・外用	インバクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者		
CHE		持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
AST(GOT)	注射	頓用注射薬	ソルラウト	CT用	
ALT(GTP)		薬	ソルデム3A	血糖管理必要患者群(糖尿病, 高血糖), CT用	
LDH	リハビリ		ノボリンAR単位	血糖管理必要患者群(糖尿病, 高血糖), CT用	
r-GTP		手前リハビリ		ADL下げないように	
ALP	安静度			フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK	
AMY				病院内はフリー、外出外泊不可	
LAP	入浴			ベッド上安静	
T-Bil				カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	
D-Bil	院外受診			カテ・チューブ類挿入患者	
CPK				ADLCにより、往診 or 受診依頼判断	
T-Chol				歯科受診	
TG				耳鼻科受診	
UA				眼科受診	
BUN				皮膚科受診	
Cre				精神科受診	
Na				糖尿病内科受診	
K				婦人科受診	
Cl					
Ca	書類関連			前カルテ取り寄せ	
Mg				経海綿腔留置書	
Fe				肝生検意向書	
CRP				上部内視鏡検査同意書	
TBA				下部内視鏡検査同意書	
NH3				造影CT撮影同意書	
BS				MR撮影同意書	
B2MG				リンパ球クロスマッチ申し込み書	
U-Cu					
Ceruloplasmin					
Anti-mitochondrial Ab (AMA)	ウイルスン病患者				
ANA	ウイルスン病患者				
SMA	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
LKM	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
P-ANCA	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
C-ANCA	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
IgG quantitative	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
IgA quantitative	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
IgM quantitative	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH)				
TIBC	貧血患者				
Ferritin	貧血患者				
TSH	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH) 甲状腺機能異常患者				
T3	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH) 甲状腺機能異常患者				
T4	自己免疫疾患群 (PSC/PBC/AH) 甲状腺機能異常患者				
protein C/protein S	凝固関連注意患者群 (凝固異常, Budd-Chiari, 脾摘患者)				
凝固系	PT				
	APTT				
感染組スクリーニング	CMV-IgG (blood)				
	CMV-IgM (blood)				
	EBNA				
	EA-IgG				
	VCA-IgG (血液)				
	VCA-IgA (血液)				
	VCA-IgM (血液)				
	HSV-IgG (blood)	BA患者 or PFIC患者			
	HSV-IgM (blood)	BA患者 or PFIC患者			
	水痘-HZIgG (血液)	BA患者 or PFIC患者			
水痘-HZIgM (血液)	BA患者 or PFIC患者				
Measles IgG (blood)	BA患者 or PFIC患者				
Measles IgM (blood)	BA患者 or PFIC患者				
Mumps IgG	BA患者 or PFIC患者				
Mumps IgM	BA患者 or PFIC患者				
HBV-DNA quantitative	HBV患者				
HCV-RNA quantitative	HCV患者				
HCV genotype	HCV患者				
血液ガス	PaO2		喫煙患者 or 肺機能/心電図で異常あり or SpO2<97		
	PaCO2				
	pH				
特殊検査	BE				
	ラクテート				
HLA	HLA				
	リンパ球クロスマッチ				
	抗A抗体、抗B抗体	血液型不適合移植			
	CD20、CD19	血液型不適合移植			
尿	T細胞B細胞百分率	血液型不適合移植			
	U-Cr (24hr)				
	U-Na (24hr)				
	U-β2MG				
	U-NAG				
生理機能検査	Cor				
	脳波	脳症疑い			
病理検査	12誘導心電図				
	肺機能検査				
内視鏡検査	腹部ドップラーエコー	技師によるスクリーニング			
	心エコー	技師によるスクリーニング			
放射線検査	肝生検				
	腫瘍診断				
X-p	上部内視鏡				
	スクリーニング (癌の有無、varix 評価)				
造影検査	ERCP	PSO患者			
	下部内視鏡				
	スクリーニング				
	X-p				
	骨密度測定	PBC患者、Vid測定・投与			
	頭部単純CT				
頭部造影CT					
胸部造影CT					
腹部一骨盤造影CT	Angio評価、治療はライブラリーへ (TAE, TIPS, Budd-chiari 評価)				
腹部MRI					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-6)

検査		コメント	治療		コメント	
血算	WBC		栄養	飲水	制限あり (一日〇〇ccまで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者
	RBC			食事	肝硬変非代償期 食事	
	Hb				肝硬変代償期 食事	
	Hct			経腸栄養	肝炎食	
	PLT				アミノレバニ	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者
	Ret			インパクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者	
生化学	TP		内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合
	Alb(A/G比)			リハビリ	手術前リハビリ	ADL下げないように
	CHE		安静度		フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK	
	AST(GOT)				病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者
	ALT(GTP)		入浴		カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ類挿入患者
	LDH				洗髪のみOK	
	r-GTP		院外受診		歯科受診	歯科治療継続
	ALP				耳鼻科受診	
	AMY				眼科受診	
	LAP				皮膚科受診	
	T-Bil				精神科受診	
	D-Bil				糖尿病内科受診	
	CPK		書類関連		ドナープロファイル取り寄せ	ドナー-labo data, volumetry
	T-Chol				退院申し込み	ユニットA-7 or ユニットA-23移行予定患者
	TG				リツキサン投与説明・同意書	ユニットA-9移行予定患者
	UA				手術申し込み、麻酔申し込み、ICU申し込み	ユニットA-7 or ユニットA-8移行予定患者
	BUN				輸血申し込み(仮)	輸血量事前連絡。ユニットA-8移行予定患者
	Cre	異常時・Cor実施	指導、IC		術前検査の内容、移植の適応、リスク説明 (第一回)	
	Na				在宅療法指導	
	K					
	Cl					
	Ca					
	Mg					
	Fe					
	CRP					
	TBA					
	NH3					
凝固系	BS					
	PT					
	APTT					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-8)

検査		コメント	治療		コメント		
血算	WBC		栄養	飲水	制限あり (一日〇〇ccまで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者	
	RBC			食事	肝硬変非代償期 食事		
	Hb				肝硬変代償期 食事		
	Hct			経腸栄養	アミノレバニ	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者	
	PLT			インバクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者		
	Ret			持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
	血液像						
生化学	TP		内服・外用	下剤	マグコーラルP1包	手術前日13時内服	
	Alb(A/G比)				プルゼニド2T	手術前日就寝前に内服	
	CHE				GE	手術日朝	
	AST(GOT)		注射	頓用注射薬	ソルラクト	CT用	
	ALT(GTP)				ソルデム3A	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)、CT・肝生検用	
	LDH				ノボリンR4単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)、CT用	
	γ-GTP			ソルデム3A	手術前日朝から		
	ALP			点滴注射	80~100ml/hr		
	AMY				ノボリン R 4U/ソルデム3A 500ml	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	
	LAP		手術前指示	飲水	手術前日は水、お茶、ポカリのみで24時まで可		
	T-Bil				食事	手術前日は朝食後より絶食	
	D-Bil					要確認の上、手術前々日の朝食分まで	
	CPK			手術室持参品		注射にコスト用入力	
	T-Chol			点滴	処方品	セフトラックス 3V	
	IG					ピクシリン 3V	
UA		生理食塩水100ml 6V					
BUN		HBIG10V				HBV患者	
Cre		ファルモルピシ				HCC患者、stage II 以上患者(10mg/m2)	
Na		生理食塩水100ml 1V					
K		PGE1、ソルメドロール、heparin		血液型不適合移植			
Cl		処置品		NGチューブ(12G)			
Ca				CVカテ(16Gシングル)	SFSG		
Mg				HAカテ	血液型不適合移植		
Fe		ICU持参品		プログラフ			
CRP			シクロスボリン	HCV患者			
TBA			エンテカビル	HBV患者			
NH3		リハビリ	手術前リハビリ	ADL下げないように			
BS		安静度	フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK				
HbA1c			病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者			
B2MG		入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ類挿入患者			
PT			洗髪のみOK				
凝固系	APTT		書類関連	麻酔申込書			
	ATIII			手術申込書			
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		ICU申し込み	ICU申し込み			
	(1-3) βDゲルカン			輸血申し込み	クロス採血、輸血申し込み書提出済みの場合輸血準備量再確認		
血液ガス	PaO2	喫煙患者 or 肺機能/心電図で異常あり or SpO2<97	指導、モニテラ	病理検査依頼書			
	PaCO2			手術説明・同意書 (第二回)			
	pH			手術説明・同意書 (内科医or精神科医) (第三回)			
	BE			輸血説明・同意書			
	ラクテート	前回検査より1ヶ月以上経過の場合		中心静脈カテーテル挿入説明・同意書			
腫瘍マーカー	AFP			せん妄についての説明・同意書			
	PIVKA-II			人工透析説明・同意書			
	AFP (L3)						
特殊検査	抗A抗体、抗B抗体	血液型不適合移植					
	CD20、CD19	血液型不適合移植、リツキサン投与後3週間以上経過している患者					
	T細胞B細胞百分率	血液型不適合移植、リツキサン投与後3週間以上経過している患者					
尿	尿定性、沈査						
	U-Cr (24hr)	前回検査より1ヶ月以上経過の場合					
	U-Na (24hr)	前回検査より1ヶ月以上経過の場合					
	U-β 2MG	前回検査より1ヶ月以上経過の場合					
	U-NAG	前回検査より1ヶ月以上経過の場合					
	Ccr	前回検査より1ヶ月以上経過の場合					
便	便潜血						
	心電図						
生理機能検査	肺機能検査						
	腹部ドップラーエコー						
内視鏡検査	上部内視鏡						
放射線検査	造影腹部CT	前回検査より3か月以上経過の場合)					



表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-9)

検査		コメント	治療		コメント	
血算	WBC		栄養	飲水	制限あり (一日〇〇ccまで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者
	RBC			食事	肝硬変非代償期 食事	
	Hb				肝硬変代償期 食事	
	Hct			肝炎食		
	PLT			経腸栄養	アミノレバン	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者
	Ret				インパクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者
生化学	TP		内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合
	Alb(A/G比)		リハビリ	手術前リハビリ		ADL下げないように
	CHE		安静度	フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK		
	AST(GOT)			病院内はフリー、外出外泊不可		カテ・チューブ類挿入患者
	ALT(GTP)		入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー		カテ・チューブ類挿入患者
	LDH			洗髪のみOK		
	r-GTP		書類関連	血液型不適合移植説明書		
	ALP			リツキサン投与説明・同意書		
	AMY					
	LAP					
	T-Bil					
	D-Bil					
	CPK					
	T-Chol					
	TG					
	UA					
	BUN					
	Cre					
	Na					
	K					
Cl						
Ca						
Mg						
Fe						
CRP						
TBA						
NH3						
BS						
凝固系	PT					
	APTT					
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア (1-3)βDグルカン					
放射線検査	胸部Xp・立位					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-10)

検査		コメント	治療		コメント		
血算	WBC	リツキサン投与翌日	栄養	飲水	制限あり (一日〇〇ccまで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者	
	RBC	リツキサン投与翌日		食事		肝硬変非代償期 食事	
	Hb	リツキサン投与翌日				肝硬変代償期 食事	
	Hct	リツキサン投与翌日				肝炎食	
	PLT	リツキサン投与翌日		経腸栄養	アミノレバン		他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者
生化学	TP	リツキサン投与翌日	内服・外用	インパクト		他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者	
	Alb(A/G比)	リツキサン投与翌日		持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
	CHE	リツキサン投与翌日	注射	ロキソニン錠			
	AST(GOT)	リツキサン投与翌日		リツキサン点滴開始1時間前に内服			
	ALT(GTP)	リツキサン投与翌日		1	生理食塩水100ml		
	LDH	リツキサン投与翌日			ブリンペラン1A		
	γ-GTP	リツキサン投与翌日			100ml/30分で		
	ALP	リツキサン投与翌日		2	5%ブドウ糖液500ml		
	AMY	リツキサン投与翌日			ノボリンR 5U/5%Tz500ml		血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)
	LAP	リツキサン投与翌日			リツキサン(375mg/m <sup>2</sup> )		
	T-Bil	リツキサン投与翌日			投与開始0~1時間 25mg/hr		
	D-Bil	リツキサン投与翌日			投与開始1~2時間 100mg/hr		
	CPK	リツキサン投与翌日	投与開始2時間~ 200mg/hr				
	T-Chol	リツキサン投与翌日	リツキサン投与指示	飲食		リツキサン開始-1時間から、投与後1時間経過まで	
	TG	リツキサン投与翌日		自動血圧器		非親血的自動血圧モニター:リツキサン開始から終了後1時間まで、30分おきの呼吸含めバイタルチェック	
	UA	リツキサン投与翌日		モニタリング		心電図モニター:リツキサン開始から終了後1時間まで、30分おきの呼吸含めバイタルチェック	
	BUN	リツキサン投与翌日			心電図	経皮的酸素飽和度モニター:リツキサン開始から終了後1時間まで、30分おきの呼吸含めバイタルチェック	
	Cre	リツキサン投与翌日			SpO2		
	凝固系	Na	リツキサン投与翌日	輸血	赤血球MAP		貧血症のある患者 (Hb<8)
		K	リツキサン投与翌日		FFP		高度凝固異常により出血の危険性がある患者 (PT-INR>3)
Cl		リツキサン投与翌日	血小板			血小板減少により出血の危険性がある患者 (PLT<30000)	
CRP		リツキサン投与翌日	凝固因子			特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
BS		リツキサン投与翌日	リハビリ	手術前リハビリ		ADL下げないように	
PT		リツキサン投与翌日	安静度	フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK			
APTT		リツキサン投与翌日		病院内はフリー、外出外泊不可		カテ・チューブ類挿入患者	
			書類関連	入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー		カテ・チューブ類挿入患者
					洗髪のみOK		
				退院申し込み			A7移行予定患者
		輸血同意書					
		指導・IC	在宅療法指導		A7移行予定患者		

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-11)

検査		コメント	治療		コメント		
血算	WBC	血漿交換後	栄養	絶飲食		血漿交換当日朝8時から血漿交換終了時まで	
	RBC	血漿交換後	内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
	Hb	血漿交換後	注射	ソルラクト500ml 80ml/hr		ライン挿入直前から開始	
	Hct	血漿交換後		カルチコール1A		ソルラクトに混注	
	PLT	血漿交換後		ソルテム3A 500ml		血しょう交換時用	
	TP	血漿交換後		ノボリンR 4U		血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	
	Alb(A/G比)	血漿交換後		カルチコール1A		ソルテムに混注	
	CHE	血漿交換後		リンデロン1A			
	AST(GOT)	血漿交換後		生理食塩水100ml		全開で滴下	
	ALT(GTP)	血漿交換後		血漿交換 施行指示	飲食		血漿交換中
	LDH	血漿交換後			自動血圧器		血漿交換中
	γ-GTP	血漿交換後			モニタリング	心電図	血漿交換中
	ALP	血漿交換後	SpO2			血漿交換中	
	生化学	AMY	血漿交換後	輸血	赤血球MAP		貧血症のある患者(Hb<8)
LAP		血漿交換後	FFP		高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)		
T-Bil		血漿交換後	血小板		血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)		
D-Bil		血漿交換後	凝固因子		特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者		
CPK		血漿交換後	処置	クワントンカテーテル		当日朝左右ソケイ部の処置	
T-Chol		血漿交換後	安静度	ベッド上フリー、トイレのみ可		ライン挿入以降	
TG		血漿交換後		病院内はフリー、外出外泊不可		カテ・チューブ類挿入患者	
UA		血漿交換後	入浴	洗髪のみOK		ライン挿入以降	
BUN		血漿交換後	書類関連	血漿交換申込書			
Cre		血漿交換後		血漿交換同意書			
Na		血漿交換後		クワントンカテーテル挿入同意書			
K		血漿交換後		輸血同意書			
Cl		血漿交換後					
CRP		血漿交換後					
凝固系	BS	血漿交換後					
	PT	血漿交換後					
	APTT	血漿交換後					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-13)

検査		コメント	治療		コメント
血算	WBC		栄養	絶飲食	
	RBC			ソルデム3A 500ml × 4(5)本/日	
	Hb			補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日	
	Hct			コンクライトMg (20ml) 1A × 1/日	
	PLT			ガスター (2ml) 1A × 2/日	
生化学	TP		注射	KN4A 500ml × 4(5)本/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)
	Alb(A/G比)			補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)
	CHE			コンクライトMg (20ml) 1A × 1/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)
	AST(GOT)			ガスター (2ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)
	ALT(GTP)			ソルラクト500ml	補正
	LDH			ピカーボン 500ml	補正、高乳酸血症患者
	r-GTP			1%ディブリバン注 50ml	
	ALP			0.3%イノシリンジ 50ml	
	AMY			イノバン400mg	INを抑えたい患者
	T-Bil			生理食塩水30ml	
	D-Bil			ベルジピン原液	量は条件付指示参照
	CPK			ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)
	T-Chol			生理食塩水50ml	
	TG			ビクシリン1g	12時間ごと
	UA			生理食塩水100ml	
	BUN			セフォタックス1g	12時間ごと
	Cre			生理食塩水100ml	
	Na			ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植
	K			生理食塩水35ml	
	凝固系	Cl			頓用注射薬
Ca			ノイアート	ATIII80%以下、凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植	
CRP			HBIG1万単位	3PODまで連日、HBV患者	
NH3			メイロン(8.4%)		
BS			ハンブ		
プロトロンビン時間(PT)			5%ぶどう糖液50ml(hANP用)		
活性トロンボプラステン時間(APTT)			ラシックス	静注	
アンチトロンビンIII(ATIII)			ソルラクト500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)	
PaO2			ヘパリン1000U		
血液ガス		PaCO2		如置	
	pH		経腸栄養チューブ状態決定		
	BE		カテーテル関連		SGカテ位置決定
	ラクテート		門脈圧カテーテル位置決定		抹消ライン含めライン整理
生理機能検査	ドップラーエコー			動脈圧カテーテル位置決定	
				人工呼吸器設定	
放射線検査	胸部Xp		輸血	透析設定	
	ボータブル			赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)
	腹部Xp			FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)
	ボータブル		血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)	
			凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
			安静度	ベッド上安静	側臥位、ヘッドアップOK
			手術説明	病理標本供覧	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-14)

検査		コメント	栄養	治療	コメント
血算	WBC	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	内服・外用	絶飲食	
	RBC	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		バラクールド錠0.5mg	HBV患者、NG or 経腸栄養チューブから挿入
	Hb	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		GE60ml	一日便が出なかった場合翌日午前中に
	Hct	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルテム3A 500ml ×4(5)本/日	
	PLT	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A×2/日	
	Ret	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクライトMg (20ml) 1A×1/日	
	血液像	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ガスター(2ml) 1A×2/日	
	TP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		KN4A 500ml×4(5)本/日	腎機能異常患者群(高K血しよ、腎不全)
	Alb(A/G比)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A×2/日	腎機能異常患者群(高K血しよ、腎不全)
	CHE	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクライトMg (20ml) 1A×1/日	腎機能異常患者群(高K血しよ、腎不全)
生化学	AST(GOT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ガスター(2ml) 1A×2/日	腎機能異常患者群(高K血しよ、腎不全)	
	ALT(GTP)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ソルテム500ml	補正	
	LDH	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ピカーボン 500ml	補正、高乳酸血症患者	
	γ-GTP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	1%ディプリバン注 50ml		
	ALP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	0.3%イノバシリンジ 50ml		
	AMY	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	イノバ400mg	INを抑えたい患者	
	T-Bil	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水30ml		
	D-Bil	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ベルジピン原液	量は条件付指示参照	
	CPK	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	
	T-Chol	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水50ml		
凝固系	TG	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ピクシリン1g	12時間ごと	
	UA	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水100ml		
	BUN	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	セフトタックス1g	12時間ごと	
	Cre	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水100ml		
	Na	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植	
	K	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水35ml		
	Cl	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	アルブミン製剤(25%) 50ml	2V/3時間	
	Ca	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ノイアート	ATIII80%以下、凝固関連注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植	
	CRP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	HBIG1万単位	3PODまで連日、HBV患者	
	TBA	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	メイロン(8.4%)		
血液ガス	NH3	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ハンパ		
	BS	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	5%ぶどう糖液50ml(hANP用)		
	B2MG	シャント形成患者、週1回	ラジックス	静注	
	薬物血中濃度(FK/CyA)	14PODまで連日	ヘルラクソ500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)	
	プロトロンビン時間(PT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ヘパリン1000U		
	活性化トロンボプラスチン時間(APTT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日			
	アンチトロンビンIII(ATIII)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日			
	PaO2	一日3回	チューブ関連	挿管チューブ位置決定	
	PaCO2	一日3回	経腸栄養チューブ状態決定		
	pH	一日3回	SGカテ位置決定		
BE	一日3回	門脈圧カテーテル位置決定	抹消ライン含めライン整理		
ラクテート	一日3回	動脈圧カテーテル位置決定			
特殊検査	CD20	血液型不適合移植、1POD、7POD	SGカテ除去	3POD	
	抗A抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日	門脈圧カテ除去	7POD	
	抗B抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日	動脈圧カテ除去	14POD	
	HBs定量	HBV患者、3PODまで連日	CVカテ交換/刺し替え(16G single or double or triple)	一週間ごと	
	U-Cr(24hr)	シャント形成患者、週1回	腹腔ドレーン 除去	500ml/日以下で除去	
	U-Na(24hr)	シャント形成患者、週1回	胸水ドレーナージ	性状確認目的 or その他貯留がないと考える場合 or 易感染性でドレーン留置がリスクである場合	
	U-β2MG	シャント形成患者、週1回	胸水ドレーン挿入(16G single)	呼吸状態悪化時	
	U-NAG	シャント形成患者、週1回	腹腔ドレーナージ	性状確認目的 or その他貯留がないと考える場合 or 易感染性でドレーン留置がリスクである場合	
	Ccr	シャント形成患者、週1回	腹腔ドレーン挿入(16G single)	腹部症状がある場合	
	人工呼吸器設定		人工呼吸器設定		
放射線検査	ドップラーエコー	一日2回	透析設定		
	胸部Xp	ポータブル	輸血	赤血球MAP	
	腹部Xp	ポータブル	FFP	貧血症のある患者(Hb<8)	
			血小板	高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)	
			凝固因子	血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)	
			凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
			安静度	ベッド上安静	
			安静度	側臥位、ヘッドアップOK	
			Dr-Ns指示	体重測定	
			Dr-Ns指示	尿量測定	
		Dr-Ns指示	IN-OUTバランス測定		

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-15)

検査		コメント	治療		コメント		
血算	WBC	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	内服・外用	絶飲食	飲水開始初日は一日500mlまで、その後フリー		
	RBC	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		バラクルード錠0.5mg	HBV患者、NG or 経腸栄養チューブから挿入		
	Hb	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		GE60ml	一日便が出なかった場合翌日午前中に		
	Hct	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルデム3A 500ml × 4(5)本/日			
	PLT	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日			
	Ret	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクライトMg (20ml) 1A × 1/日			
	血液像	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ガスター(2ml) 1A × 2/日			
	TP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		KN4A 500ml × 4(5)本/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)		
	Alb(A/G比)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)		
	CHE	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクライトMg (20ml) 1A × 1/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)		
生化学	AST(GOT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	注射	ガスター(2ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)		
	ALT(GTP)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルラクト500ml	補正		
	LDH	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ピカーボン 500ml	補正、高尿酸血症患者		
	r-GTP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		1%デヒプリリン注 50ml			
	ALP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		0.3%イノパンシリンジ 50ml			
	AMY	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		イノパン400mg	INを抑えたい患者		
	T-Bil	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水30ml			
	D-Bil	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ヘルジピン原液	量は条件付指示参照		
	CPK	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)		
	T-Chol	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水50ml			
凝固系	TG	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	頓用注射薬	ピクシリン1g	12時間ごと		
	UA	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水100ml			
	BUN	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		セフォタックス1g	12時間ごと		
	Cre	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水100ml			
	Na	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、臍摘患者)、血液型不適合移植		
	K	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水35ml			
	Cl	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		アルブミン製剤(25%) 50ml	2V/3時間		
	Ca	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノイアート	ATIII80%以下、凝固関連注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、臍摘患者)、血液型不適合移植		
	CRP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		HBIG1万単位	3PODまで連日、HBV患者		
	TBA	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		メイロン(8.4%)			
感染症スクリーニング	NH3	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	チューブ関連	ハンブ			
	BS	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		5%ぶどう糖液50ml(hANP用)			
	BZMG	シャント形成患者、週1回		ランックス	静注		
	薬物血中濃度(FK/CyA)	14PODまで連日		ソルラクト500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)		
	プロトロンビン時間(PT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ヘパリン1000U			
	活性化トロンボプラスチン時間(APTT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日					
	アンチトロンビンIII(ATIII)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日					
	(1-3)βDグルカン	術前高値症例は適宜、その後週1回					
	HCV-RNA	HCV患者、1回					
	血液ガス	PaO2		weaning前、呼吸器案件設定変更5分後、PSUへ変更5分後、抜管5分後、抜管1時間後、他動務帯で各1回	処置	カテーテル類関連	挿管チューブ位置決定
PaCO2		weaning前、呼吸器案件設定変更5分後、PSUへ変更5分後、抜管5分後、抜管1時間後、他動務帯で各1回	経腸栄養チューブ状態決定				
pH		weaning前、呼吸器案件設定変更5分後、PSUへ変更5分後、抜管5分後、抜管1時間後、他動務帯で各1回	SGカテ位置決定				
BE		weaning前、呼吸器案件設定変更5分後、PSUへ変更5分後、抜管5分後、抜管1時間後、他動務帯で各1回	門脈圧カテーテル位置決定	抹消ラインを含めライン整理			
ラクテート		weaning前、呼吸器案件設定変更5分後、PSUへ変更5分後、抜管5分後、抜管1時間後、他動務帯で各1回	動脈圧カテーテル位置決定				
腫瘍マーカー		AFP	HCC患者	動脈圧カテ抜去			
		PIVKA-II	HCC患者	SGカテ抜去			3POD
		CD20	血液型不適合移植、1POD、7POD	門脈圧カテ抜去			7POD
特殊検査		抗A抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日	動脈圧カテ抜去			14POD
		抗B抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日	CVカテ交換/刺し替え(16Gsingle or double or triple)			一週間ごと
	HBs定量	HBV患者、3PODまで連日	腹腔ドレーン抜去	500ml/日以下で抜去			
尿	U-Cr(24hr)	シャント形成患者、週1回	胸水ドレーン	性状確認目的 or その後貯留がないと考える場合 or 易感染性でドレーン留置がリスクである場合			
	U-Na(24hr)	シャント形成患者、週1回	胸水ドレーン挿入(16G single)	呼吸状態悪化時			
	U-β2MG	シャント形成患者、週1回	腹腔ドレーン	性状確認目的 or その後貯留がないと考える場合 or 易感染性でドレーン留置がリスクである場合			
	U-NAG	シャント形成患者、週1回	腹腔ドレーン挿入(16G single)	腹部症状がある場合			
	Scr	シャント形成患者、週1回	透析設定				
生理機能検査	ドップラーエコー	weaning前、抜管1時間後	輸血	赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)		
	胸部Xp		安静度	FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)		
	ポータブル		Dr→Ns指示	血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)		
放射線検査	腹部Xp			凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者		
	ポータブル			IN-OUT/バランス測定	毎朝8時		
	ポータブル				2時間ごと		
					シーツこぼれた分、不感蒸散、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず		

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-16)

検査	コメント	治療	コメント		
血算	WBC	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	栄養 加水	加水開始初日は一日500mlまで、その後フリー	
	RBC	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	加熱食	流動から開始、状態に応じてUP可	
	Hb	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	バラクールド錠0.5mg	HBV患者、NG or 経腸栄養チューブから挿入	
	Hct	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	GE60ml	一日便が出なかった場合翌日午前中に	
	PLT	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ソルチム3A 500ml ×4(5)本/日		
	Ret	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A×2/日		
	血液像	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	コンクライトMg (20ml) 1A×1/日		
	TP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ガスター(2ml) 1A×2/日		
	Alb(A/G比)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	KN4A 500ml×4(5)本/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	CHE	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A×2/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
生化学	AST(GOT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	コンクライトMg (20ml) 1A×1/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	ALT(GTP)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ガスター(2ml) 1A×2/日	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	LDH	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ハイカリックRF 250ml×1	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	γ-GTP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	10% NaCl	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	ALP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	フルカリック×2 (1号→2号→3号)	長期食止め患者	
	AMY	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ガスター(2ml) 1A×2/日	長期食止め患者	
	T-Bil	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	エレメンミック	長期食止め患者	
	D-Bil	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	オートカMV注	長期食止め患者	
	CPK	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ソルラクト500ml	補正	
	T-Chol	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ピカーボン 500ml	補正、高乳酸血症患者	
凝固系	TG	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	1%デンプリン注 50ml		
	UA	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	0.3%イノバンシリンジ 50ml		
	BUN	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	イノバン400mg	INを抑えたい患者	
	Cre	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水30ml		
	Na	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ヘルジピン原液	量は条件付指示参照	
	K	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	
	Cl	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水50ml		
	Ca	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ピクシリン1g	12時間ごと	
	CRP	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水100ml		
	TBA	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	セフォタクス1g	12時間ごと	
感染症スクリーニング	NH3	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生食食塩水100ml		
	BS	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植	
	B2MG	シャント形成患者、週1回	生食食塩水35ml		
	薬物血中濃度(FK/CyA)	14PODまで連日	アルブミン製剤(25%)50ml	2V/3時間	
	プロトロンビン時間(PT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	ノイアート	ATTIII80%以下、凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植	
	活性トロンボプラスチン時間(APTT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	HBIG1万単位	3PODまで連日、HBV患者	
	アンチトロンビンIII(ATIII)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	メイロン(8.4%)		
	(1-3)βDグルカン	術前高値症例は適宜、その後週1回	ハンブ		
	HCV-RNA	HCV患者、1回	5%ぶどう糖液50ml(hANP用)		
	PaO2	一日2回	ラシックス	静注	
血液ガス	PaCO2	一日2回	ソルラクト500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)	
	pH	一日2回	ヘパリン1000U		
	BE	一日2回			
	ラクテート	一日2回	チューブ関連 挿管チューブ位置決定		
	腫瘍マーカー	AFP	HCC患者	経腸栄養チューブ状態決定	
		PIVKA-II	HCC患者	SGカテ抜き	3POD
		CD20	血液型不適合移植、1POD、7POD	門脈圧カテ抜き	7POD
		抗A抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日	動脈圧カテ抜き	14POD
		抗B抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日	CVカテ交換/刺し替え(16G single or double or triple)	一週間ごと
		HBs定量	HBV患者、3PODまで連日	腹腔ドレーン抜き	500ml/日以下で抜き
U-Cr(24hr)		シャント形成患者、週1回	胸水ドレーン	性状確認目的 or その後貯留がないと考える場合 or 易感染性でドレーン留置がリスクである場合	
U-Na(24hr)		シャント形成患者、週1回	腹腔ドレーン	性状確認目的 or その後貯留がないと考える場合 or 易感染性でドレーン留置がリスクである場合	
U-β2MG		シャント形成患者、週1回	透析設定	腹部症状がある場合	
U-NAG		シャント形成患者、週1回			
生理機能検査	Ccr	シャント形成患者、週1回	輸血 赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)	
	ドップラーエコー	朝	FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)	
	胸部Xp		血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)	
	ポータブル		凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
	腹部Xp		安静度	病棟内フリー	
	ポータブル		Dr→Ns指示	休重測定	
				尿量測定	
				IN<OUTバランス測定	
				毎朝8時	
				4時間ごと	
			シートにほれた分、不感蒸散、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず		

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-17)

検査	コメント	治療	コメント	
血算	WBC	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回	栄養	加熱滅菌後の飲み物 加水開始初日は一日500mlまで、その後フリー
	RBC	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		グレープフルーツ類、ほか生野菜・果物類、加熱滅菌後の牛乳はOK、差し入れも電子レンジで温めれば食べてOK
	Hb	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		加熱食 流動から開始、状態に応じてUP可
	Hct	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回	内服・外用	パラクソール錠0.5mg HBV患者、NG or 経腸栄養チューブから挿入
	PLT	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		GE60ml 7PODから開始 プルトニソロンが0.1mg/kgになったら一日一錠 プルトニソロン中止でガスターも中止
	Ret	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		パタタ1T 朝一回 7POD～術後1年目まで
	血液像	14POD以降は必要時のみ		ケルソ100mg6T 分3 食後 7POD～術後1年目まで
	TP	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ガスターOD錠(20mg) 2T 分2 食後 2mg/日まで増量 APTT2.25目標
	AbS(A/G比)	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ワーファリン0.5T 分1 夕 CVから末梢へ変えた場合
	CHE	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ソルデム3A 500ml ×4(5)本/日 ガスター(2ml)1A ×2/日
AST(GOT)	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回	注射	ソルラクト500ml ノボリンR 50単位 生理食塩水50ml 血糖管理必要患者群(糖尿、高血糖)、皮下うちヘスウィッチング	
ALT(GTP)	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ソルラクト500ml	
LDH	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ノボリンR 50単位 生理食塩水50ml 凝固関連注意患者群(凝固異常、 Budd-Chiari、 脾摘患者)、血液型不適合移植	
r-GTP	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ヘパリン10000単位(1万単位) 生理食塩水35ml	
ALP	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		アルブミン製剤(25%)50ml 2V/3時間	
AMY	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ノイアート ATIII80%以下、凝固関連注意患者群(凝固異常、 Budd-Chiari、 脾摘患者)、血液型不適合移植	
T-Bil	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回	頓用注射薬	ラシックス ソルラクト500ml ライネキープ用(SG、門脈カテーテルなど)	
D-Bil	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		ヘパリン1000U	
CPK	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		チューブ関連 経腸栄養チューブ抜去	
T-Chol	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		門脈圧カテーテル抜去 動脈圧カテーテル抜去 CVカテーテル交換/刺し替え (16G single or double or triple)	
TG	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		カテーテル関連 胸腔ドレーン抜去 胸腔ドレーン挿入(16G single)	
UA	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		腹腔ドレーン抜去 腹腔ドレーン挿入(16G single)	
BUN	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		透析設定	
Cre	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		輸血	
Na	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		赤血球MAP FFP 血小板 凝固因子	
K	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		貧血症のある患者(Hb<8)	
Cl	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		高度凝固異常により出血の危険性がある患者 (PT-INR>3)	
Ca	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		血小板減少により出血の危険性がある患者 (PLT<30000)	
CRP	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回		特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
TBA	14POD以降は必要時のみ			
NH3	14POD以降は必要時のみ			
BS	14PODまで連日、21PODまで連3回、28PODまで連2回、その後週1回			
B2MG	シャント形成患者、週1回			
薬物血中濃度(FK/CyA)	14PODまで連日			
凝固系	プロトロンビン時間(PT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	安静度	病棟内フリー
	活性化トロンボプラスチン時間(APTT)	3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		
	アンチトロンビンIII(ATIII)	14PODまで一日一回、14POD以降は必要時のみ	院外受診	DM内科 血糖管理必要患者群(糖尿、高血糖)
感染症スクリーニング	(1-3)βDグルカン	術前高値症例は適宜、その後週1回		
	HCV-RNA	HCV患者、1回	Dr→Ns指示	体重測定 尿量測定 8時間ごと
腫瘍マーカー	AFP	HCC患者、月1回		シートこぼれた分、不感蒸気、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下剤量は含めず
	PIVKA-II	HCC患者、月1回		
特殊検査	CD20	血液型不適合移植、1POD、7POD		
	抗A抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日		
	抗B抗体	血液型不適合移植、10PODまで連日		
	HBs定量	HBV患者、3PODまで連日		
尿	U-Cr(24hr)	シャント形成患者、週1回		
	U-Na(24hr)	シャント形成患者、週1回		
	U-β2MG	シャント形成患者、週1回		
	U-NAG	シャント形成患者、週1回		
	Scr	シャント形成患者、週1回		
生理機能検査	ドップラーエコー	朝、14POD以降適宜		
放射線検査	造影胸腹CT	HCC患者 or シャント症例		



表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-18)

検査	コメント	治療	コメント	
血算	WBC	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	栄養	加熱減菌後の飲み物
	RBC	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		加熱食
	Hb	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		バラクルード錠0.5mg
	Hct	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		GE60ml
	PLT	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		バクタ1T 朝一回
	Ret	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		ウルソ100mg6T 分3 食後
生化学	TP	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	内服・外用	ガスターOD錠(20mg) 2T 分2 食後
	Ab(A/G比)	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		ワーファリン0.5T 分1 夕
	AST(GOT)	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		コンクール
	ALT(GTP)	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		ロキソニン
	γ-GTP	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		FK錠粒、0.5mgなど微調整用
	AMY	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		ブルゼニド
	T-Bil	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	処置	創部処置
	D-Bil	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		チューブ再固定
	BUN	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	安静度	試験外治可
	Cre	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		フリー
	Na	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	患者教育	家での生活指導(患者ダイアリーの記入方法説明含む)
	K	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		緊急時の対応
	Cl	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		食事指導
	CRP	21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		薬剤指導
	薬物血中濃度(FK/CyA)	28PODまで週2回、その後週1回		チューブ、創部、スタマ管理
感染症スクリーニング	HBs定量	術前高値症例は適宜、その後週1回	家族への教育	
腫瘍マーカー	AFP	HCC患者、月1回	今後の外来計画	
	PIVKA-II	HCC患者、月1回	他科診察の計画	
放射線検査	造影胸腹CT	HCC患者 or シャント症例	退院処方	
			Dr→Dr チェックリスト	
			退院報告書(紹介元病院へ)	
			外来予約	
			退院療養計画書	
			退院手続き	
			診断書	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-20)

検査		コメント	治療	コメント	
血算	WBC	7PODまで一日1回	栄養 内服・外用	飲水	飲水開始初日は一日500mlまで、その後フリー
	RBC	7PODまで一日1回		肝機能障害食	流動から開始、状態に応じてUP可
	Hb	7PODまで一日1回		バラクルード錠0.5mg	HBV患者、NG or 経腸栄養チューブから挿入
	Hct	7PODまで一日1回		GE60ml	一日便が出なかった場合翌日午前中に
	PLT	7PODまで一日1回		ソルデム3A 500ml × 4(5)本/日	
	Ret	7PODまで一日1回		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日	
生化学	血液像	7PODまで一日1回		ソルラクト500ml	
	TP	7PODまで一日1回		ピカーボン 500ml	高乳酸血症患者
	Alb(A/G比)	7PODまで一日1回		0.3%イノパンシリンジ 50ml	
	CHE	7PODまで一日1回		イノパン400mg	INを抑えたい患者
	AST(GOT)	7PODまで一日1回		生理食塩水30ml	
	ALT(GTP)	7PODまで一日1回		ベルジピン原液	量は条件付指示参照
	LDH	7PODまで一日1回		ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)
	γ-GTP	7PODまで一日1回		生理食塩水50ml	
	ALP	7PODまで一日1回		ピクシリン1g	12時間ごと
	AMY	7PODまで一日1回		生理食塩水100ml	
	T-Bil	7PODまで一日1回		セフォタックス1g	12時間ごと
	D-Bil	7PODまで一日1回		生理食塩水100ml	
	TG	7PODまで一日1回		アルブミン製剤(25%) 50ml	2V/3時間
	UA	7PODまで一日1回		ラシックス	静注
	BUN	7PODまで一日1回		ソルラクト500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)
	Cre	7PODまで一日1回		ヘパリン1000U	
	Na	7PODまで一日1回		SGカテ抜去	
	凝固系	K	7PODまで一日1回	処置	動脈圧カテ抜去
Cl		7PODまで一日1回	CVカテ交換/刺し替え (16Gsingle or double or triple)		一週間ごと
Ca		7PODまで一日1回	腹腔ドレーン抜去		500ml/日以下で抜去
CRP		7PODまで一日1回	赤血球MAP		貧血症のある患者(Hb<8)
NH3		7PODまで一日1回	FFP		高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)
BS		7PODまで一日1回	血小板		血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)
凝固系	プロトロンビン時間(PT)	7PODまで一日1回	輸血	凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者
	活性トロンボプラスチン時間(APTT)	7PODまで一日1回		安静度	病棟内フリー
	アンチトロンビンIII(ATIII)	7PODまで一日1回			
血液ガス	PaO2		Dr→Ns指示	体重測定	毎朝8時
	PaCO2			尿量測定	4時間ごと
	pH			IN-OUTバランス測定	シートこぼれた分、不感蒸発、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず
	BE				
生理機能検査	ラクテート				
	ドップラーエコー				
放射線検査	胸部Xp				
	ポータブル				
	腹部Xp				
	ポータブル				

表2 図1のユニットシートの記載内容 (A-21)

検査	コメント	治療	コメント	
血算	WBC	7PODまで一日1回、その後週2~1回	栄養 脱水 肝機能障害 内服・外用 GEB0ml ガスターOD錠(20mg) 2T 分2 食後 手術前内服薬 ソルデム3A 500ml × 4(5)本/日 ソルラクト500ml アルブミン製剤(25%) 50ml ラシックス 抜拘 CVカテ交換/刺し替え (16Gsingle or double or triple) 腹腔ドレーン抜去 輸血 赤血球MAP FFP 血小板 凝固因子 安静度 病棟内フリー 体重測定 Dr→Ns指示 尿量測定 IN-OUTバランス測定	飲水開始初日は一日500mlまで、その後フリー 流動から開始、状態に応じてUP可 一日便が出なかった場合翌日午前中に 補正 2V/3時間 静注 退院前に 一週間ごと 500ml/日以下で抜去 貧血症のある患者(Hb<8) 高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3) 血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000) 特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者 毎朝8時 8時間ごと シーツこぼれた分、不感蒸散、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず
	RBC	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	Hb	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	Hct	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	PLT	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	Ret	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
生化学	TP	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	Alb(A/G比)	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	AST(GOT)	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	ALT(GTP)	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	γ-GTP	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	AMY	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	T-Bil	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	D-Bil	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	BUN	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	Cre	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
	Na	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
K	7PODまで一日1回、その後週2~1回			
Cl	7PODまで一日1回、その後週2~1回			
CRP	7PODまで一日1回、その後週2~1回			
BS	7PODまで一日1回、その後週2~1回			
凝固系	プロトロンビン時間(PT)	7PODまで一日1回、その後週2~1回		
腫瘍マーカー	AFP	HCC患者、月1回		
	PIVKA-II	HCC患者、月1回		

表2 図1のユニットシートの記載内容 (B-1)

検査	コメント	治療	コメント
生化学	(1-3) $\beta$ DG	リファンピシン	要検討(肝障害)
	GFTテスト/ツ反	イソニアジド	(結核治療ガイドライン参照)
血液ガス	PaO2	抗結核薬 ピラジナミド	
	PO2	エタンブトール	
	pH	肺高血圧改善薬 ラシックス	(肺高血圧治療ガイドライン2006参照)
	BE	経ロブスタグランジン12誘導体	
	ラクテート	抗結核薬 ストレプトマイシン	
生理機能検査	ホルター心電図	抗真菌薬 ジフルカン	
	トレッドミル負荷心電図	ファンギゾン	
	肺機能検査	肺高血圧改善薬 ラシックス	(肺高血圧治療ガイドライン2006参照)
	心エコー	プロスタグランジン12	
放射線検査	造影胸部CT	処置 胸水穿刺/ドレナージ	
細菌検査	痰	塗抹、PCR (TBガイド参照)	安静度 病院内はフリー、外出外泊不可
	血液	入浴 カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	
		書類関連 胸水ドレナージ説明・同意書 造影胸部CT説明・同意書	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (B-2)

検査	コメント	治療	コメント
生理機能検査	腹部エコー	抗生剤 セフォタックス	SBP治療第一選択薬
病理検査	腹水細胞診	補液 ソルラクト	腹水に対する補正が必要な患者
	血球分画	処置 腹水穿刺、ドレナージ	必要時
細菌検査	腹水培養(細菌)	腹水ドレナージチューブ入れ替え	腹水ドレナージ中患者で入れ替え必要時
	腹水培養(真菌)	書類関連 腹水穿刺同意書	(肺高血圧治療ガイドライン2006参照)

表2 図1のユニットシートの記載内容 (B-3)

検査	コメント	治療	コメント
生理機能検査	ドップラーエコー	食事	
放射線検査	造影頭部CT	造影CT検査	検査前一食から絶食
	造影胸腹CT	骨シンチ	骨シンチ検査中(4時間程度)
	腹部MRI	ソルラクト	CT用
	骨シンチグラフィ	ソルデム3A	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)、CT用
	PET	ノボリン4単位	
		書類関連 造影CT撮影同意書 MRI撮影同意書 骨シンチ同意書 PET同意書	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (B-4)

検査	コメント	治療	コメント
生理機能検査	バブル心エコー	書類関連 肺血流シンチ説明・同意書	
放射線検査	肺血流シンチ	移植可能ということになったら、ADLについての綿密なアナムネを、移植後の呼吸苦の改善のコントロールとなります。	
		チアノーゼ	
		バチ指	
		平坦な道～分步ける	
		階段何段一気に上がれる	
		学校での生活	
		家での生活	
		自転車こげる	
		低酸素血症の症状(頭痛etc)	



表2 図1のユニットシートの記載内容 (B-5)

検査		コメント	治療		コメント	
血算	WBC		栄養	絶飲食		
	RBC			アミノレバニ		
	Hb			インバクト		
	Hct			ハイカリックRF	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	PLT			10%NaCl	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)	
	Ret			フルカリック		
	血液像		ハイカリック	心不全時		
生化学	TP		注射	アミノレバニ		
	Alb(A/G比)			50%Tz		
	CHE			エレメンミック		
	AST(GOT)			オーツカMV注		
	ALT(GTP)			1%ディプリバン注 50ml		
	LDH			0.3%イノバシリンジ 50ml		
	γ-GTP			ベルジピン原液	量は条件付指示参照	
	ALP			ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	
	AMY			生理食塩水50ml		
	T-Bil			マキシビーム	胆汁移行	
	D-Bil			生理食塩水100ml		
	CPK			セフォタックス1g	腹水移行	
	T-Chol			生理食塩水100ml		
	TG			ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者)、血液型不適合移植	
	UA			生理食塩水35ml		
	BUN			頓用注射薬	アルブミン製剤	
	Cre				K2N	
	Na				ラシックス	
	K				メイロン	
	Cl				ハンブ	
Ca		ソルラクト500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)			
CRP		ヘパリン1000U				
NH3		腹水穿刺、ドレナージ	腹水貯留患者			
BS		胸水穿刺、ドレナージ	胸水貯留患者			
Endotoxin quantitative		CVカテーテル挿入	高カロリー輸液必要患者 or CVカテ必要患者			
(1-3)β DG		尿道バルーンカテーテル挿入	尿量測定必要患者			
CMVアンチゲネミア		NGチューブ挿入	気管挿管患者 or イレウス患者 or 経管栄養必要患者			
プロトロンビン時間(PT)		スワングアンツカテーテル挿入	心肺系モニター必要患者			
活性トロンボプラスチン時間(APTT)		Aライン挿入	バイタル不安定患者 or 挿管患者			
アンチトロンビンIII(ATIII)		挿管	呼吸不全患者 or 意識障害患者			
Fig		クイントンカテーテル	透析患者 or 血漿交換 or 人工肝必要患者			
FDP		PCPSカテーテル挿入術	PCPS必要患者			
D-Dimer		CHDF	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)			
PaO2		HD	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)			
PaCO2		血しょう交換	高度凝固異常 or 肝不全患者 or 肝性脳症患者			
pH		赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)			
BE		FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)			
ラクテート		血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)			
尿	尿定性、沈査		凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者		
	U-Cr(24hr)		リハビリ	手術前リハビリ		
	U-Na(24hr)		安静度	ベッド上安静		
	Ccr		絶対安静	CHDF or 血漿交換中患者 or 軽度脳症患者		
放射線検査	胸部Xp		入浴	洗髪のみOK		
	臥位					
	腹部Xp					
	臥位					

表2 図1のユニットシートの記載内容 (C-1)

治療		コメント
栄養	経腸栄養	
	5%ブドウ糖液 250ml	腸蠕動音聴取あり
内服・外用	大健中湯 6包分3	20ccのお湯で溶かして注入(用法)
処置	経腸チューブ初回投与確認	
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可	
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥	
Dr→Dr指示	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。	
	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始	
	メイン輸液は原則同量で継続	
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める	
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (C-2)

治療		コメント
栄養	経腸栄養	
	エレンタール1包をお湯で溶かし全量600mlにする(だいたい540mlのお湯で溶かす)	腸蠕動音聴取あり
	エレンタール1包をお湯で溶かし全量300mlにする	エレンタールハーフで腹痛・下痢なし
内服・外用	エレンタール80g	
処置	大健中湯 6包分3	20ccのお湯で溶かして注入(用法)
処置	チューブ再固定	
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可	
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥	
Dr→Dr指示	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。	
	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始	
	エレンタールハーフ開始後and(経口摂取が開始されていればメインは時間量—20ml、-30ml、-40mlで継続 or 経口摂取開始されていなければメインは時間量—10ml、-20ml、-30mlで継続)	
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める	
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放	
	インスリン持続投与中は増量して継続	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (C-3)

治療		コメント	
栄養	経腸栄養	1. エレンタール1包をお湯で溶かし全量300mlにする	経腸栄養問題なし and 経口摂取良好、40ml/hrで12時間投与(総量480ml、480kcal/day)
		2. メディエフソイバッグ300ml	経腸栄養問題なし and 経口摂取1/2、メディエフソイバッグ300ml×2/day、40ml/hrで開始し50ml/hrまでUP、6時間づつ投与、間6時間あける(総量600ml、600kcal/day)
		3. メディエフソイバッグ400ml	経腸栄養問題なし and 経口摂取1/3、メディエフソイバッグ400ml×2/day、40ml/hrで開始し50ml/hrまでUP、8時間休止(総量800ml、800kcal/day)
		4. エレンタール1包をお湯で溶かし全量300mlにする	経腸栄養問題なし and 経口摂取1/3 and 経腸栄養時間量増量不可、30ml/hrで12時間投与(総量360ml、360kcal/day)
内服・外用	エレンタール80g		
	大健中湯 6包分3	20ccのお湯で溶かして注入(用法)	
処置	大健中湯 3包分3	1、2、3の場合内服へ変更	
処置	チューブ再固定		
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可		
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥		
Dr→Dr指示	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。		
	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始		
	メイン40ml/hr以下の場合and(末梢のみでいける場合は経時的に減量の上終了or補正が1000ml/day以上の場合メイン中止orCV必要な場合で補正1000ml/day以下はメイン維持して補正終了)		
	メイン40ml以上の場合and(4のとき経口摂取増加までメインを維持or 3のときメイン減量)		
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める		
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放		
	インスリンを皮下注射へ移行		





表2 図1のユニットシートの記載内容 (C-4)

治療		コメント
栄養	経腸栄養 エレメンタル1包をお湯で溶かし全量600mlにする(だいたい540mlのお湯で溶かす)	10ml/hr(総量240ml、120kcal/day)から開始
	ラコール	10ml/hrから開始
	エンシュアリキッド	10ml/hrから開始
内服・外用	エレメンタル80g	
	ラコール	
処置	エンシュアリキッド	
	チューブ再固定	
Dr→Ns指示	経腸栄養At-in-oneのものは24時間使用可 経腸栄養ポルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨でのち洗浄(ミルトン)・乾燥 経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。	
	Dr→Dr指示 経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始 エレメンタルで下痢の場合ラコールエンシュアを開始or(メディエフで下痢の場合ラコールエンシュアを開始orエレメンタルハーブに戻す)or(腸動痛によるものの場合大建中湯を中止。 下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める 腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放 インスリン持続投与中は増量して継続	

表2 図1のユニットシートの記載内容 (D-1)

治療		コメント
内服・外用	プログラフ ( )mg × 2	9時21時 14PODまでトラフ10前後でコントロール 12を超えたら一回内服スキップ 15POD以降はトラフ8前後でコントロール1POD9時より1mg/回で開始 GRWR<0.8%症例&覚醒遅延症例&術前の感染症合併症例&BW<40kg症例は0.5mg/回から開始
	シクロスポリン ( )mg × 1 9時	FK内服できない症例 8mg/kg/dayで開始
	ブレドニン5mg ( )T 朝一回	0.3mg/kg 8POD~28PODまで 0.1mg/kg 術後3ヶ月目まで その後中止 バルス中は中止
	MMF250mg	腎機能不全患者 2T分2朝タ→3T分3朝昼タ→4T分2朝タ→6T分3朝昼タ→8T分2朝タと増量可
	アザチオプリン ( )mg × 1 朝 1mg/kg/day	血液型不適合移植、8PODから開始
注射	ソルメドロール	1mg/kg 1POD, 2POD, 3POD 0.5mg/kg 4POD 5POD 6POD 0.3mg/kg 7POD
	生理食塩水100ml	朝、1時間で
	エンドキサン100mg	血液型不適合移植、2mg/kg/day、7PODまで
	生理食塩水100ml	朝、1時間で
	動脈カテーテルより(旧プロトコル)	
	プロスタグランジンE1	0.01γ、7PODまで
	5%ブドウ糖50ml	
	ヘパリン10000単位(1万単位)	14PODまで
	生理食塩水50ml	
	ソルメドロール 125mg	2ml/hr、7PODまで
	生理食塩水50ml	
ソルメドロール 50mg	2ml/hr、14PODまで	
生理食塩水50ml		
血漿交換	血漿交換 FFP40単位	14POD以内 & IgG titerが前日の4倍以上

表2 図1のユニットシートの記載内容 (E-1)

治療		コメント
Dr→Ns指示	離床は1ギャッジアップ(側臥位含む) 2、座位 3、立位 4、歩行の順でUP可	挿管中は1まで可
		気管切開中は2まで可
		無気肺による腹臥位はそのつどDrに確認
		BIPAP中は2まで可
		FVよりHD中は臥床で手の屈伸のみ
		IJよりHD中は2まで離床可
		抜管後でHDない症例は4まで順次UP可(Aライン、CVラインなどにかかわらず)

表2 図1のユニットシートの記載内容 (E-2)

治療		コメント
書類関連	PTリハビリテーション申込書	



表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-1)

検査		コメント	治療		コメント
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア	移植後1ヶ月目より月1回術後1年間採血 or 移植後1ヶ月より月一回術後9ヶ月目まで採血(FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)	内服・外用	ゾビラックス200mg 3T分3	食後、術後7日目より6ヶ月間内服

表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-2)

検査		コメント	治療		コメント
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア	移植後1ヶ月目より月1回術後1年間採血 or 移植後1ヶ月より月一回術後9ヶ月目まで採血(FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)	内服・外用	ゾビラックス200mg 3T分3	食後、術後7日目より6ヶ月間内服

表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-3)

検査		コメント	治療		コメント
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア	移植後1ヶ月目より月1回術後1年間採血 or 移植後1ヶ月より月一回術後9ヶ月目まで採血(FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)	内服・外用	ゾビラックス200mg 3T分3	食後、術後7日目より6ヶ月間内服

表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-4)

検査		コメント	治療		コメント
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア	移植後1ヶ月目より月1回術後1年間採血 or IgG出現により、月一回術後9ヶ月目まで採血(FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)可	内服・外用	ゾビラックス200mg 3T分3	食後、術後7日目より6ヶ月間内服
	CMV-IgG(blood)	移植後1ヶ月目より3ヶ月に1回採血			

表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-5)

検査		コメント	治療		コメント	
血算	WBC	投与後翌日、それ以降必要時	内服・外用	ゾビラックス200mg 3T分3	ガンシクロビル治療中は中止、ガンシクロビル治療奏功後内服再開(6ヶ月間継続)	
	RBC	投与後翌日、それ以降必要時				
	Hb	投与後翌日、それ以降必要時				
	Hct	投与後翌日、それ以降必要時				
	PLT	投与後翌日、それ以降必要時				
	RET	投与後翌日、それ以降必要時				
生化学	血液像	投与後翌日、それ以降必要時	注射	デノシン	5mg/kg を生理食塩水100mlに混注。12時間ごと、14日間、一回投与は100ml/2hrで。次の7日間は24時間ごと7日間、一回投与は100ml/2hrで。	
	BUN	投与後翌日、それ以降必要時			抗CMVグロブリン	必要時
	Cre	投与後翌日、それ以降必要時			グラン	骨髄抑制時
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア	ガンシクロビル治療1クール終了後採血	ソルラクト	腎機能障害併発時		

表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-6)

検査		コメント	治療		コメント	
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		内服・外用	ゾビラックス200mg 3T分3	ガンシクロビル・フォスカネット治療中は中止、ガンシクロビル・フォスカネット治療奏功後内服再開(6ヶ月間継続)	
特殊検査	GCV耐性CMVウイルス検査		注射	デノシン	5mg/kg を生理食塩水100mlに混注。12時間ごと、14日間、一回投与は100ml/2hrで。次の7日間は24時間ごと7日間、一回投与は100ml/2hrで。耐性ウイルス株検出まで継続。	
					フォスカネット	
					抗CMVグロブリン	必要時
					グラン	骨髄抑制時
			ソルラクト	腎機能障害併発時		



表2 図1のユニットシートの記載内容 (F-7)

検査	コメント	治療	コメント
免疫抑制剤濃度	C0	内服・外用	(F4からの患者)トラフ<6にコントロール
	C2		(F123からの患者)トラフ<8にコントロール
	MMF		C0、C2測定の上コントロール領域再判断
	FKトラフ		(F4からの患者)0.3mg/kgで内服中は減量の上中止、0.1mg/kgで内服中は中止
	(F123からの患者)0.1mg/kg以下に減量		
		MMF	減量

表2 図1のユニットシートの記載内容 (G-1)

治療	コメント
書類関連	胆管造影申込書 ドナー術中胆道造影XP レシピエント術中、術後胆道造影XP
指導、IC	胆管造影説明・同意書 G2移行予定患者
胆管チューブ関連プロファイル	胆汁一日量
	便色
	臨床症状の有無(かゆみ、痛み、漏れ、クランプの有無、チューブ磨耗、チューブ位置変化、事故除去)
	labo data (AST, ALT, T-Bil, rGTP)
	手術からの日数
	術後胆管チューブトラブルの有無

表2 図1のユニットシートの記載内容 (G-2)

検査	コメント	治療	コメント
放射線検査	XTV	栄養	検査前1時間絶食 38.0度以上の発熱あれば絶食継続
	胆道造影	注射	ソララクト セフメタゾン1gキット ソルデム3A ノボリンR 4U 絶食時補液 一日二回、絶食時補液 血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)
		処置	胆管チューブ チューブ位置 造影所見(ドナー胆管造影のうち欠損枝の有無、吻合部狭窄の有無、胆汁漏の有無、NAS所見の有無、総胆管狭窄の有無)
		胆管チューブ関連プロファイル	乳頭機能 腸蠕動 チューブ外ろう機能(造影剤逆流の程度)

表2 図1のユニットシートの記載内容 (G-3)

治療	コメント
処置	胆管チューブ
指導、IC	胆管チューブ管理関連指導

表2 図1のユニットシートの記載内容 (G-4)

治療	コメント
指導、IC	胆管チューブ管理関連指導

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-1)

検査	コメント内容			検査	コメント内容				
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定		
血算	WBC			栄養	飲水	制限あり(一日0ccまで)	利尿剤内服中 脱水・脱水貯留患者		
	RBC				食事	肝硬変非代償期	食事		
	Hb					肝硬変代償期	食事		
	Hct					肝硬変			
	PLT				造影CT検査			検査前一食から絶食	
	Ret				経腸栄養	アミノレバチン	他院から継続の場合 高アンモニア血症患者		
	血液像	異常時:骨髄検査				インバクト	他院から継続の場合 経口摂取不十分患者		
生化学	TP			内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合		
	Ab(A/G比)			注射	頓用注射薬	ソルラクト		CT用	
	CHE					ソルデム3A	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)	CT用	
	AST(GOT)					ノボリン4単位	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)	CT用	
	ALT(GTP)			リハビリ	手術前リハビリ		ADL下げないように		
	LDH			安静度	フリー、検査予定によっては遠東外泊、外出OK				
	γ-GTP				病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者			
	ALP			入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ類挿入患者			
	AMY				洗髪のみOK				
	LAP			書類関連	造影CT撮影同意書				
	T-Bil				HIV採血同意書				
	D-Bil				PTT申込書				
	CPK				栄養指導				
	T-Chol			指導、IC	薬剤指導				
	TG				現状(肝硬変)に対するムンテラ				
	UA								
	BUN								
	Cre								
	Na								
	K								
Cl									
Ca									
Mg									
Fe									
CRP									
TBA									
NH3									
BS									
HbA1c									
凝固系	PT								
	APTT								
	ATIII								
血液型	Fig								
	ABO Rh(D)								
感染症スクリーニング	HCV-AB								
	HBc-Ag								
	HBc-Ab								
	HBs-Ag								
	HBs-Ab								
	HBc-Ag								
	HBc-Ab								
	HEV								
	HTLV								
	RPR・TPHA								
Schistosoma Antibody	エジプト人患者								
腫瘍マーカー	AFP								
	CEA								
	CA19-9								
	PSA	男性患者							
	CA15-3	女性患者							
	CA125	女性患者 or 腹水患者							
PNK A-II	HCC患者								
AFP(L3)	HCC患者								
尿	尿定性、沈査								
	尿潜血								
生理機能検査	12誘導心電図	虚血性心疾患既往歴							
	胸部Xp								
放射線検査	立位								
	腹部Xp								
	立位								
	臥位	胆嚢患者 HCC以外の癌疑いの場合GIF、 OF、MRI、PET、FNHとの鑑別など MRI。							
	造影胸部骨盤CT								
癌・胃腸病変、 鑑別	MMG	女性患者 乳癌既往歴 乳癌家族歴 35歳以上 以前の検査が一年以上前							
	喀痰塗抹、チール・ニールゼン 染色検査	結核感染ハイリスク患者							

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-2)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC			栄養	飲水 制限あり		
	RBC			食事	制限あり		
	Hb			内服・外用	持参薬 持参薬の継続		指示あるまでpendng
	Hct				ソルラクト		ルートキープ用
	PLT				5N2	腎機能不全患者	ルートキープ用
	Ret			注射	基本輸液 ソルデム3A	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)	ルートキープ用
血液像					ノボリン4単位	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)	ルートキープ用
生化学	TP			処置	心電図モニター		
	Alb(A/G比)				酸素飽和度モニター		
	CHE				服薬投与		
	AST(GOT)			安静度	絶対安静		
	ALT(GTP)			書類関連	入院時書類一式		
	LDH				HIV採血同意書		
	r-GTP				ICU入室申込書		
	ALP				HCU入室申込書		
	AMY			指導、IC	栄養指導		
	LAP				薬剤指導		
	T-Bil				現状(肝硬変)に対するムンテラ		
	D-Bil				急性肝不全に関する治療の内容・ムンテラ・同意書		
	CPK			スコアリング	Child		
	T-Chol				MELD		
	TG				JCS		
	UA				ALF分類		
	BUN				移植適応評価(Kings college, 日本)		
	Cre				肝性脳症staging		
	Na				APACHE score		
	K				Anion Gap, Osmolality gap, Na再吸収率		
	Cl						OG-実測浸透圧-(Na*1.86+BS/18+BUN/28)
	Ca						
	Mg						
	Fe						
	CRP						
	TBA						
	NH3						
	BS						
	HbA1c						
	B2MG						
Cor							
U-Cu			必要時				
Ceruloplasmin			必要時				
ANA	AH疑い時(IgG, 抗DNA抗体、pANCA追加)						
SMA	AH疑い時(IgG, 抗DNA抗体、pANCA追加)						
LKM	AH疑い時(IgG, 抗DNA抗体、pANCA追加)						
TIBC							
Ferritin							
proteinC/proteinS			必要時				
アセトアミノフェン濃度			必要時				
カームス試験			必要時				
フィッシュヤー比		BCAA/AAA					
凝固系	PT						
	APTT						
	ATIII						
	Fib						
	ヘパラスチンテスト(HPT)						
血液型	ABO Rh(D)						
	HCV-AB		必要時				
	HBs-Ag		必要時				
	HBs-Ab		必要時				
	HBc-Ab						
	HBc-Ag						
	HBc-Ab						
	HIV						
	HTLV						
	RPR・TPHA						
	Schistosoma Antibody	エジプト人患者					
	CMV-IgG(blood)						
	CMV-IgM(blood)						
	EBNA						
	EA-IgG						
VCA-IgG(血液)							
VCA-IgA(血液)							
VCA-IgM(血液)							
HSV IgG(blood)							
HSV IgM(blood)							
全血(1-3)-b-Dグルカン							
endotoxin							
CMVアンチゲネミア							
血液ガス	PaO2						
	PaCO2						
	pH						
	BE						
	ラクテート						
腫瘍マーカー	AFP						
	CEA						
	CA19-9						
	PSA	男性患者					
	CA15-3	女性患者					
	CA125	女性患者 or 腹水患者					
	PIVKA-II	HCC患者					
AFP(L3)	HCC患者						
尿	尿定性・沈査						
	U-Cr(24hr)						
	U-Na(24hr)						
	U-β2MG						
U-NAG							
生理機能検査	ドップラーエコー			検査項目(肝臓の萎縮、動脈亢進、HV、IV C球等の有無、側副血行路、眼球(視神経))			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-3)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC			栄養	アミレパン		
	RBC				インバクト		
	Hb				グルタミン酸		
	Hct				イソジンガーゲル		
	PLT				コンクール		
	Ret				ファンギゾンシロップ		
生化学	血液像			口腔内ケア	ラクツロース		NGより注入 or 注腸
	TP				下剤	酸化マグネシウム	
	Alb(A/G比)			抗生剤	バクトロバン		鼻腔に塗布
	CHE				カナマイシン 4g分4		NGより注入
	AST(GOT)			粘膜炎薬	アルロイドG		
	ALT(GTP)				ガスター		
	LDH				タケブロン		
	γ-GTP			注射	アミレパン		
	ALP				PNツインなど		
	AMY				強力ミノファーゲン100ml/日		
	LAP				ガスター/オメプラール		
	T-Bil				ピタミン(B1, B6, C)		
	D-Bil				グルカゴン		
	CPK				K2N		
	T-Chol				メイロン		
	TG				プロボフォル		
	UA				ベルジピン		
	BUN				生食 50ml		
	Cre				ノボリンR 50U		血糖管理必要患者群
	Na				抗ウイルス薬		
K			抗真菌薬				
Cl			アルブミン				
Ca			ハンブ				
CRP			イノバン				
NH3			ノルアド				
BS			FOY				
凝固系	PT				エラスボール		
	APTT			マンニトール			
	ATIII			クリセロール			
	Fib			ラシックス			
感染症スクリーニング	へパプラスチンテスト(HPT)			アレビアチン			
	HBV-DNA quantitative	HBV患者		ソセゴン			
	HCV-RNA quantitative	HCV患者		筋弛緩薬			
血液ガス	HCV genotype	HCV患		リドカイン			
	PaO2			ミリスロール			
	PaCO2			ピソルボン			
	pH			ソルラクト 500ml		ラインキープ用	
腫瘍マーカー	BE			ノボヘパリン 1000U			
	ラクターゼ			BISモニター			
	AFP			挿管			
	CEA			IVH			
	CA19-9			S-Gモニター			
	PSA	男性患者		クイントンカテーテル挿入			
	CA15-3	女性患者		Aライン挿入			
	CA125	女性患者 or 腹水患者		ドレーン管理			
	PIVKA-II	HCC患者		NG			
	AFP (L3)	HCC患者		腹腔ドレーン			
尿	尿定性、沈査			胸腔ドレーン			
	U-Cr(24hr)			尿道バルーンカテーテル			
	U-Na(24hr)			人工呼吸器 設定			
	U-β 2MG			HD			
生理機能検査	U-NAG			CHDF			
	ドップラーエコー			CHF			
	脳波			PE			
病理検査	BISモニター波形計測			DFPP			
	肝生検			MARS			
内視鏡検査	GIF			輸血	赤血球MAP	PT<25%で開始、40%以上をキープ	
	気管支鏡			輸血	FFP		
放射線検査	胸部Xp			リハビリ	血小板		
	ポータブル・臥位			安静座	拘縮予防、尖足予防		
	腹部Xp				頭部挙上 (HOB>30)		
	ポータブル・臥位				絶対安静		
	頭部CT						
	単純CT						
細菌検査	腹部CT						
	造影腹部-骨盤CT						
	単純腹部-骨盤CT	腎機能異常患者群					
	口腔、気管、尿、便						
	血液						
	腹水						
内視鏡検査	胸水						
	カテーテル先						



表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-4)

検査	コメント内容			検査	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC			栄養	脱水	クリアウォーターー日1Lまで	
	RBC				食事	肝不全食	
	Hb				経腸栄養	アミノレバシ	
	Hct					インバクト	
	PLT					グルタミン酸	
	Ret					イソジンガーグル	
	血液像				口腔内ケア	コンクール	
	TP					ファンギゾシシロップ	
	Alb(A/G比)				下剤	ラクツロース	NGより注入 or 注腸
	ChE				抗生剤	酸化マグネシウム	鼻腔に塗布
AST(GOT)				バクトロバン	内服		
ALT(GTP)				カナマイシン 4g分4			
LDH			粘膜保護薬	アルロイドG			
r-GTP				ガスター			
ALP				タケブロン			
AMY				アミノレバシ			
LAP				PNツインなど			
T-Bil				強力ミノファゲン100ml/日			
D-Bil				ガスター/オメプラール			
OPK				ビタモン(B1, B6, C)			
T-Chol				グルカゴン			
TG				K2N			
UA				生食 50ml			
BUN				ノボリンR 50U	血糖管理必要患者群		
Cre				抗生剤			
Na				抗ウイルス薬			
K				抗真菌薬			
Cl				アルブミン	血液製剤類(血液製剤管理簿対象)		
Ca				ラシックス			
ORP				ピソルボン			
NH3				ソルラクト 500ml			
BS				ノボヘパリン 1000U			
PT				処置			
APTT				輸血			
ATIII				赤血球MAP			
Fig				FFP	PT<25%で開始、40%以上をキープ		
ヘパラスチンテスト(HPT)				血小板			
HBV-DNA quantitative	HBV患者			リハビリ	手術前リハビリ		
HCV-RNA quantitative	HCV患者			安静度	病院内		
HCV genotype	HCV患			書類関連	IVHライン挿入説明・同意書		
ドップラーエコー							
脳波							
病理検査	肝生検						
内視鏡検査	GIF						
	気管支鏡						
放射線検査	胸部Xp						
	立位						
	腹部Xp						
	立位・臥位						
	頭部CT						
	単純CT						
	造影腹部-骨盤CT						
	単純腹部-骨盤CT	腎機能異常患者群					
細菌検査	口腔、気管、尿、便						
	血液						
	腹水						
	胸水						
	カテーテル先						

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-5)

	コメント内容				治療	コメント内容				
	検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定		
血算	WBC				栄養	絶飲食				
	RBC					飲水	制限あり(一日0ccまで)	利尿剤内服中 or 脱水・脱水貯留患者		
	Hb					食事	肝臓変性依頼 食事			
	Hct						肝臓変性依頼 食事			
	PLT						肝臓変性依頼 食事			
	Ret						造影CT検査			検査前1食から絶食
	TP					経腸栄養	アミノレバチン	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者		
	Ab(A/G比)					インハクト	他院から継続の場合 or 軽口摂取不十分患者			
	ChE					内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
	AST(GOT)						ゾララクト			CT用
ALT(GTP)				注射	頓用注射薬	ゾラデム3A	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	CT用		
LDH					ノボリン4R単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)		CT用		
r-GTP				リハビリ	手術前リハビリ		ADL下げないように			
ALP				安静床	フリン	フリン、検査予定によっては週末外泊、外出OK				
AMH					病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ留挿入患者				
LAP				入浴	ベテリ上安静					
T-Bil					カテ・チューブ確保してシャワーのみフリー	カテ・チューブ留挿入患者				
D-Bil				院外受診	歯科受診			ADLにより、往診 or 受診依頼判断		
CPK					耳鼻科受診					
T-Chol					眼科受診	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)、ウイソン患者、PBG患者				
TG					皮膚科受診	皮膚疾患ある場合				
UA					精神科受診			意思確認済み		
BUN					糖尿病内科受診	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)				
Cre					婦人科受診					
Na					前カルテ取り寄せ	手術歴、なんらかの治療歴のある患者				
K					薬酒期間確認書	アルコール性肝硬変患者				
Cl					肝生検査同意書					
生化学	Ca			書類関連	書類関連	上部内視鏡検査同意書				
	Mg				書類関連	下部内視鏡検査同意書				
	Fe				書類関連	造影CT撮影同意書				
	CRP				書類関連	MRI撮影同意書				
	TBA					リンパ球クロスマッチ申し込み書				
	NH3									
	BS									
	B2MG									
	U-Cr	ウイソン病患者								
	Ceruloplasmin	ウイソン病患者								
Anti-mitochondrial Ab (AMA)	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
ANA	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
SMA	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
LKM	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
P-ANCA	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
C-ANCA	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
IgG quantitative	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
IgA quantitative	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
IgM quantitative	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH)									
TIBC	貧血患者									
Ferritin	貧血患者									
TSH	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH) 甲状腺機能低下患者									
T3	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH) 甲状腺機能異常患者									
T4	自己免疫疾患群(PSC/PBC/AIH) 甲状腺機能異常患者									
protein C/protein S	凝固関連薬注意患者群(凝固異常、 Budd-Chari, 経腸栄養)									
凝固系	PT									
	APTT									
感染症スクリーニング	CMV-IgG (blood)									
	CMV-IgM (blood)									
	EBNA									
	EA-IgG									
	VCA-IgG (血液)									
	VCA-IgA (血液)									
	VCA-IgM (血液)									
	HSV IgG (blood)	BA患者 or PFIC患者								
	HSV IgM (blood)	BA患者 or PFIC患者								
	水痘・HZIgG (血液)	BA患者 or PFIC患者								
水痘・HZIgM (血液)	BA患者 or PFIC患者									
Measles IgG (blood)	BA患者 or PFIC患者									
Measles IgM (blood)	BA患者 or PFIC患者									
Mumps IgG	BA患者 or PFIC患者									
Mumps IgM	BA患者 or PFIC患者									
HBV-DNA quantitative	HBV患者									
HCV-RNA quantitative	HCV患者									
HCV genotype	HCV患者									
血液ガス	PaO2	喫煙患者 or 肺機能/心電図で異常あり or SpO2<97								
	PaCO2									
pH	pH									
	BE									
ラクトレート	ラクトレート									
HLA	HLA									
	リンパ球クロスマッチ									
	抗A抗体、抗B抗体	血液型不適合移植								
	CD20, CD19	血液型不適合移植								
T細胞B細胞百分率	T細胞B細胞百分率	血液型不適合移植								
U-Cr (24hr)	U-Cr (24hr)									
	U-Na (24hr)									
	U-β2MG									
	U-NAG									
U-Cr	U-Cr									
尿	尿									
生理機能検査	12誘導心電図									
	脳神経検査									
脳神経検査	脳神経超音波検査									
	心エコー						医師によるスクリーニング			
病理検査	肝生検						医師によるスクリーニング			
	腫瘍診断									
内視鏡検査	上部内視鏡									
	スクリーニング (癌の有無、varix 診断)									
ERCP	ERCP	PSC患者								
	下部内視鏡									
スクリーニング	スクリーニング									
X-P	X-P									
	骨密度測定	PBC患者					VitD測定・投与			
	頸部造影CT									
	胸部造影CT									
放射線検査	腹部造影CT									
	腹部一骨層造影CT									
腹部MRI						Angio評価、治療はライブラリーへ(TAE、TIPS、Budd-Chari)評価				



表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-6)

検査	コメント内容			治療	コメント内容			
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定	
血算	WBC			栄養 飲水 制限あり(一日〇〇ccまで) 食事 肝硬変非代償期 食事 肝硬変代償期 食事 肝炎食 経腸栄養 アミノレバン インパクト	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者			
	RBC							
	Hb							
	Hct							
	PLT						他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者 他院から継続の場合 or 終口摂取不十分患者	
	Ret						他院からの継続の場合	
生化学	TP			内服・外用 持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合		
	Alb(A/G比)			リハビリ	手術前リハビリ		ADL下げないように	
	CHE			安静度	フリー、検査予定[によっては週末外泊、外出OK]			
	AST(GOT)				病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ挿入患者		
	ALT(GTP)			入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ挿入患者		
	LDH				洗髪のみOK			
	r-GTP			院外受診	歯科受診	歯科治療継続		
	ALP				耳鼻科受診			
	AMY				眼科受診			
	LAP				皮膚科受診			
	T-Bil				精神科受診			
	D-Bil				糖尿病内科受診			
	CPK				書類関連	ドナープロファイル取り寄せ		ドナーlabo data, volumetry
	T-Chol					退院申し込み	ユニットA-7 or ユニットA-23移行予定患者	
	TG					リツキサン投与説明・同意書	ユニットA-9移行予定患者	
	UA					手術申し込み、麻酔申し込み、ICU申し込み	ユニットA-7 or ユニットA-8移行予定患者	
	BUN			指導、IC	輸血申し込み(仮)	輸血量事前連絡: ユニットA-8移行予定患者		
	Cre		異常時・Ccr実施		術前検査の内容、移植の適応、リスク説明(第一回)			
	Na				在宅療法指導			
	K							
Cl								
Ca								
Mg								
Fe								
CRP								
TBA								
NHS								
BS								
凝固系	PT							
	APTT							

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-8)

検査	コメント内容			治療	コメント内容			
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定	
血算	WBC			栄養	飲水	制限あり(一日○○ccまで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者	
	RBC				食事	肝臓薬非代償期 食事		
	Hb				肝臓薬代償期 食事			
	Hct			経腸栄養	アミノレバン	他院から継続の場合 or 過アミノ酸血症患者		
	PLT				インバクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者		
	Rst				持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合	
血液像			内服・外用	下剤	マグロロールP1包 ブルゼニド2T			
TP				GE	60ml		手術前日13時内服	
AK/A/GHt				注射	頷用注射薬	ソルラクト ソルテム3A	手術前日就寝前に内服	
CHE						ソルテム3A	手術前日	
AST(GOT)						ソルテム3A	CT用	
ALT(GTP)						ソルテム3A	CT・群生検用	
LDH						点滴注射	80~100ml/hr	CT
r-GTP						点滴注射	ノボリンR 4U/ソルテム3A 500ml	手術前日から
ALP				手術前指示	飲水	手術前日は水、お茶、ポカリのみで24時まで可		
AMY					食事	手術前日は朝食後より絶食		
LAP					持参薬	要確認の上、手術前々日の朝食分まで		
T-Bil					手術室持参品		注射にコスト用入力	
D-Bil					点滴	セフォタックス 3V		
CPK						ピクシリン 3V		
T-Chol						生理食塩水100ml 6V		
TG			HBIQ10V			HBV患者		
UA			ファルモルピシン			HCC患者 stage II 以上患者(10mg/m <sup>2</sup> )		
BUN			生理食塩水100ml 1V					
Cre			PIGE1、ソルメドロール、heparin			血液型不適合移植		
Na			NGFチューブ(12Q)					
K			CVカテ(16Q シングル)			SFSG		
Ca			HAカテ			血液型不適合移植		
Cl			プログラフ					
Me			ICU持参品		シクロスボリン エンテカビル	HCV患者 HBV患者		
Fe			リハビリ		手術前リハビリ		ADL下げないように	
CRP			安静度		フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK			
TBA			入浴		病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者		
NH3					カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ類挿入患者		
BS					洗髪のみOK			
HSA1c			書類関連	安静申請書				
B2MG				手術申請書				
PT				ICU申し込み		クロス採血、輸血申し込み書提出済みの場合輸血量 容量再確認		
PTT			指導、モニテラ	病理検査依頼書				
CMVアプテゲネミア				手術説明・同意書(第二回)				
感染症スクリーニング (1-3)βDグルカン				手術説明・同意書(内科医or精神科医)(第三回)				
PaO2	喫煙患者 or 肺機能/心電図で異常あり or SpO2<97			輸血説明・同意書				
PaCO2				中心静脈カテテル挿入説明・同意書				
pH				せん妄についての説明・同意書				
BE				人工透析説明・同意書				
ラクテート	前回検査より1ヶ月以上経過の場合							
AFP								
腫瘍マーカー	PIVKA-II AFP(L3)							
特殊検査	抗A抗体、抗B抗体	血液型不適合移植						
	CD20、CD19	リツキサン投与後3週間以上経過している患者						
	T細胞B細胞百分率	血液型不適合移植 リツキサン投与後3週間以上経過している患者						
尿	尿							
	尿-Cr(24hr)	前回検査より1ヶ月以上経過の場合						
	U-Na(24hr)	前回検査より1ヶ月以上経過の場合						
	U-β2MG	前回検査より1ヶ月以上経過の場合						
	U-NAG	前回検査より1ヶ月以上経過の場合						
	Ccr	前回検査より1ヶ月以上経過の場合						
便	便潜血							
生理機能検査	心電図							
内視鏡検査	上部内視鏡							
放射線検査	造影腹部CT	前回検査より3か月以上経過の場合						

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-9)

検査	コメント内容			治療	コメント内容				
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定		
血算	WBC			栄養	飲水	制限あり（一日〇〇ccまで）	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者		
	RBC				食事	肝硬変非代償期 食事			
	Hb				食事	肝硬変代償期 食事			
	Hct				経腸栄養	アミノレバニ	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者		
	PLT				経腸栄養	インバクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者		
Ret									
生化学	TP			内服・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合		
	Alb(A/G比)			リハビリ	手術前リハビリ			ADL下げないように	
	CHE			安静度	フリー、検査予定によっては週末外泊、外出OK				
	AST(GOT)			入浴	病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者			
	ALT(GTP)			入浴	カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ類挿入患者			
	LDH			入浴	洗髪のみOK				
	γ-GTP			書類関連	血液型不適合移植説明書				
	ALP			書類関連	リツキサン投与説明・同意書				
	AMY								
	LAP								
	T-Bil								
	D-Bil								
	CPK								
	T-Chol								
	TG								
	UA								
	BUN								
	Cre								
	Na								
	K								
	Cl								
	Ca								
	Mg								
	Fe								
	CRP								
TBA									
NH3									
BS									
凝固系	PT								
	APTT								
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア (1-3) βDゲルカン								
放射線検査	胸部Xp・立位								

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-10)

検査	コメント内容			実施条件	手段・器材	時間回数指定		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定					
血算	WBC		リツキサン投与翌日	栄養	飲水	制限あり (ーB O O c c まで)	利尿剤内服中 or 腹水・胸水貯留患者	
	RBC		リツキサン投与翌日		食事	肝硬変非代償期 食事		
	Hb		リツキサン投与翌日		食事	肝硬変代償期 食事		
	Hct		リツキサン投与翌日		食事	肝硬変		
	PLT		リツキサン投与翌日		経腸栄養	アミノレバチン	他院から継続の場合 or 高アンモニア血症患者	
	TP		リツキサン投与翌日		経腸栄養	インパクト	他院から継続の場合 or 経口摂取不十分患者	
	Alb(A/G比)		リツキサン投与翌日		内服 ・外用	持参薬	持参薬の継続	他院からの継続の場合
	CHE		リツキサン投与翌日			ロキソニン錠		
	AST(GOT)		リツキサン投与翌日			リツキサン点滴開始1時間前に内服		
	ALT(GTP)		リツキサン投与翌日			1	生理食塩水100ml	
LDH		リツキサン投与翌日		フリンベラン1A				
r-GTP		リツキサン投与翌日		100ml/30分で				
ALP		リツキサン投与翌日		5%ブドウ糖液500ml				
AMY		リツキサン投与翌日	注射	ノボリンR 5U/5%Tz500ml		血糖管理必要患者(糖尿病、 高血糖)		
LAP		リツキサン投与翌日		2		リツキサン(375mg/m <sup>2</sup> )		
T-Bil		リツキサン投与翌日				投与開始0~1時間 25mg/hr		
D-Bil		リツキサン投与翌日			投与開始1~2時間 100mg/hr			
CPK		リツキサン投与翌日		投与開始2時間~ 200mg/hr				
T-Chol		リツキサン投与翌日	リツキサン 投与指示	飲食		リツキサン開始1時間前から、投与後1時間経過まで		
TG		リツキサン投与翌日		自動血圧器		非観血的自動血圧モニター-リツキサン開始から終了後1 時間まで、30分おきの呼吸食のバイタルチェック		
UA		リツキサン投与翌日		モニタリン グ	心電図	心電図モニター-リツキサン開始から終了後1時間まで、 30分おきの呼吸食のバイタルチェック		
BUN		リツキサン投与翌日		SpO2		経皮的酸素飽和度モニター-リツキサン開始から終了後1 時間まで、30分おきの呼吸食のバイタルチェック		
Cre		リツキサン投与翌日		赤血球MAP		貧血症のある患者(Hb<8)		
Na		リツキサン投与翌日		FFP		高度凝固異常により出血の危険 性がある患者(PIT-INR>3)		
K		リツキサン投与翌日		血小板		血小板減少により出血の危険性 がある患者(PLT<30000)		
Cl		リツキサン投与翌日		凝固因子		特定凝固因子欠損により出血の 危険性がある患者		
CRP		リツキサン投与翌日		リハビリ	手術前リハビリ	ADL下げないように		
BS		リツキサン投与翌日		安静度	フリー、検査予定によっては遅来外泊、外出OK			
凝固系	PT		リツキサン投与翌日	入浴	病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者		
	APTT		リツキサン投与翌日		カテ・チューブ類保護してシャワーのみフリー	カテ・チューブ類挿入患者		
					洗髪のみOK			
					書類関連	退院申し込み	A7移行予定患者	
						輸血同意書		
					指導・IC	在宅療法指導	A7移行予定患者	

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-11)

検査	コメント内容			治療			コメント内容			
	実施条件	手段・器材	時間回数指定	栄養 内服 ・外用	絶飲食		実施条件	手段・器材	時間回数指定	
血算	WBC		血漿交換後						血漿交換当日朝8時から血漿交換終了時まで	
	RBC		血漿交換後		持参薬	持参薬の継続				
	Hb		血漿交換後			ソルラクト500ml 80ml/hr			ライン挿入直前から開始	
	Hct		血漿交換後			カルチコール1A			ソルラクトに混注	
	PLT		血漿交換後			ソルデム3A 500ml			血しょう交換時用	
	TP		血漿交換後		注射	ノボリンR 4U	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)			
	Alb(A/G比)		血漿交換後			カルチコール1A			ソルデムに混注	
	GHE		血漿交換後			リンデロン1A				
	AST(GOT)		血漿交換後			生理食塩水100ml			全期で滴下	
	ALT(GTP)		血漿交換後			飲食			血漿交換中	
生化学	LDH		血漿交換後		血漿交換 施行指示	自動血圧器			血漿交換中	
	r-GTP		血漿交換後		モニタリ ング	心電図			血漿交換中	
	ALP		血漿交換後			SpO2			血漿交換中	
	AMY		血漿交換後			赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)			
	LAP		血漿交換後			FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR>3)			
	T-Bil		血漿交換後			血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)			
	D-Bil		血漿交換後			凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者			
	CPK		血漿交換後		処置	クワンテンカテーテル		当日朝左右ソケイ部の処置		
	T-Chol		血漿交換後		安静度	ベッド上フリー、トイレのみ可			ライン挿入以降	
	TG		血漿交換後			病院内はフリー、外出外泊不可	カテ・チューブ類挿入患者			
凝固系	UA		血漿交換後		入浴	洗髪のみOK	カテ・チューブ類挿入患者		ライン挿入以降	
	BUN		血漿交換後			血漿交換申込書				
	Cre		血漿交換後			血漿交換同意書				
	Na		血漿交換後		書類関連	クワンテンカテーテル挿入同意書				
	K		血漿交換後			輸血同意書				
	Cl		血漿交換後							
	CRP		血漿交換後							
	BS		血漿交換後							
	PT		血漿交換後							
	APTT		血漿交換後							



表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-13)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC			栄養	絶飲食		
	RBC				ソルデム3A 500ml × 4(5)本/日		
	Hb				補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日		
	Hct				コンクライトMg (20ml) 1A × 1/日		
	PLT				ガスター (2ml) 1A × 2/日		
	TP				KN4A 500ml × 4(5)本/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)	
	Ab(A/G比)				補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)	
	CHE				コンクライトMg (20ml) 1A × 1/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)	
	AST(GOT)				ガスター (2ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)	
	ALT(GTP)				ソルラクト500ml		補正
生化学	LDH				ピカーボン 500ml	高乳酸血症患者	補正
	γ-GTP				1%ディプリバン注 50ml		
	ALP				0.3%イノバンリンジ 50ml		
	AMY				イノバン400mg	INを抑えたい患者	
	T-Bil				生理食塩水30ml		
	D-Bil				ペルジピン原液		量は条件付指示参照
	CPK				ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)	
	T-Chol				生理食塩水50ml		
	UA				ピクシリン1g		12時間ごと
	BUN				生理食塩水100ml		
凝固系	Cre				セフォタックス1g		12時間ごと
	Na				生理食塩水100ml		
	K				ヘパリン10000単位 (1万単位)	凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者) 血液型不適合移植	
	Cl				生理食塩水35ml		
	Ca				アルブミン製剤 (25%) 50ml		2V/3時間
	CRP				ノイアート	ATIII80%以下 凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者) 血液型不適合移植	
	NH3				HBIG1万単位	HBV患者	3PODまで連日
	BS				メイロン (8.4%)		
	プロトロンビン時間 (PT)				ハンブ		
	活性化トロンボプラスチン時間 (APTT)				5%ぶどう糖液50ml (hANP用)		
凝固系	アンチトロンビンIII (ATIII)				ラシックス		静注
					ソルラクト500ml		ラインキープ用 (S G、門脈カテーテルなど)
					ヘパリン1000U		
血液ガス	PaO2				チューブ 関連	挿管チューブ位置決定 経腸栄養チューブ状態決定	
	PaCO2				カテー テル関連	SGカテ位置決定 門脈圧カテーテル位置決定 動脈圧カテーテル位置決定 人工呼吸器設定 透析設定	抹消ライン含めライン 整理
	pH						
生理機能検査	BE						
	ラクテート						
放射線検査	ドップラーエコー						
	胸部Xp						
	ホータブル						
輸血	腹部Xp						
	ホータブル						
輸血					赤血球MAP	貧血症のある患者 (Hb<8)	
					FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者 (PT-INR>3)	
					血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者 (PLT<30000)	
					凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
安静度					ベッド上安静	側臥位、ヘッドアップ OK	
手術説明					病理標本供覧		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-14)

検査	コメント内容			治療	コメント				
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定		
血算	WBC		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	栄養	絶飲食				
	RBC		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	内服・外用	バラウルト錠0.5mg GE60ml	HBV患者	NG or 経腸栄養チューブから挿入 一日僅が出なかった場合翌午前中に		
	Hb		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日						
	Hct		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日						
	PLT		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日						
Ret		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日							
血液像		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日							
生化学	TP		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	注射	KNA 500ml × 4(3)本/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)			
	Alb(A/G比)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)			
	OHE		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コクライトMg (20ml) 1A × 1/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)			
	AST(GOT)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ガスター(2ml) 1A × 2/日	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)			
	ALT(GTP)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソララクト500ml		補正		
	LDH		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ピカーボン 500ml	高血圧症患者	補正		
	r-GTP		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		1%デヒリバン注 50ml	腎機能異常患者群 (高K血しょう、腎不全)			
	ALP		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		0.3%イノシリンリンジ 50ml				
	AMY		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		イノリン400mg		INを控えたい患者		
	T-Bil		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水50ml				
	D-Bil		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ペルジピン原液		量は条件付指示参照		
	CPK		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		γGリンR 50単位	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)			
	T-Chol		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水50ml				
	TG		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ピクシリンG		12時間ごと		
	UA		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水100ml				
BUN		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生理食塩水100ml		12時間ごと				
Cre		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	生理食塩水100ml						
凝固系	Na		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	経口注射薬	ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連注意患者群(凝固異常、 Budd-Chiari、 痔瘻患者) 血液型不適合移植			
	K		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水35ml				
	Cl		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		アルブミン液(25%)50ml		2V/3時間		
	Ca		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノイアート	凝固関連注意患者群(凝固異常、 Budd-Chiari、 痔瘻患者) 血液型不適合移植	ATB80%以下		
	CRP		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		HBIG1万単位	HBV患者	3PODまで連日		
	TBA		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		メイロン(8.4%)				
	NH3		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ハンプ				
	BS		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		5%ぶどう糖液50ml (HAMP用)				
	BDMQ		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ラックス		静注		
	薬血中濃度(FK/CyA)	シャント形成患者	週1回		ソララクト500ml		ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)		
	プロトロンビン時間(PT)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ヘパリン1000U				
	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日						
	フィブリノゲン(III (ATIII))		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日						
	血液ガス	PaO2			一日3回	チューブ関連	挿管チューブ位置決定		
		PaCO2			一日3回		経腸栄養チューブ状態決定		
pH			一日3回	SGカテ位置決定					
BE			一日3回	門脈圧カテーテル位置決定	狭小ライン含めライン整理				
ラクターゼ			一日3回	動脈圧カテーテル位置決定					
特殊検査	CD20	血液型不適合移植	1POD、7POD	カテーテル関連	SGカテ抜き		3POD		
	抗A抗体	血液型不適合移植	10PODまで連日		門脈圧カテ抜き		7POD		
	抗B抗体	血液型不適合移植	10PODまで連日		動脈圧カテ抜き		14POD		
	HBs定量	HBV患者	3PODまで連日		CVカテ交換/刺し替え (18G single or double or triple)		一週間ごと		
	U-Cr(24hr)	シャント形成患者	週1回		膀胱ドレナージ	500ml/日以下で抜き			
尿	U-Na(24hr)	シャント形成患者	週1回	カテーテル関連	胸水ドレナージ	性状確認目的 その後貯留がないと考える場合 感染性でドレナージ留置がリスクである場合			
	U-β2MG	シャント形成患者	週1回		膀胱ドレナージ	性状確認目的 その後貯留がないと考える場合 感染性でドレナージ留置がリスクである場合			
	U-NAG	シャント形成患者	週1回		膀胱ドレナージ挿入(16G single)	腰部症状がある場合			
	U-Cr	シャント形成患者	週1回		人工呼吸器設定				
	生理機能検査	シャント形成患者	週1回		透析設定				
放射線検査	ドップラーエコー		一日2回	輸血	赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)			
	胸部Xp	ポータブル			FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者 (PT-INR>3)			
	腹部Xp	ポータブル			血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者 (PLT<30000)			
					凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者			
					ベッド上安静	側臥位、ヘッドアップOK			
Dr→Na指示	体重測定			Dr→Na指示	尿量測定		毎朝6時		
	尿量測定				IN-OUT/バランス測定		2時間ごと		
					シートにぼれた分、不感蒸散、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず				

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-15)

検査	コメント内容			検査	治療	コメント内容					
	実施条件	手段・器材	時間回数指定			実施条件	手段・器材	時間回数指定			
血算	WBC			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	栄養	絶飲食					
	HbC			3PODまで一日1回、その後14PODまで連日	内服・外用	ステロイド錠0.5mg			HIV患者	脱水開始日は一日500mlまで、その後フリー	
	Hb			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		GEG 0ml				NS or 経腸栄養チューブから挿入	
	Hct			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルメチムZA 500ml × 4回/日				一日便が出なかった場合翌日午前中に	
	PLT			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2 / 日					
	Rft			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクラーチンMg (20ml) 1A × 1 / 日					
	血液像			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		アスター (2ml) 1A × 2 / 日					
	TP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		KNA 500ml × 4回/日			腎機能異常患者群 (高血圧、腎不全)		
	Ab(A/G比)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2 / 日			腎機能異常患者群 (高血圧、腎不全)		
	CHE			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクラーチンMg (20ml) 1A × 1 / 日			腎機能異常患者群 (高血圧、腎不全)		
	AST(GOT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		アスター (2ml) 1A × 2 / 日			腎機能異常患者群 (高血圧、腎不全)		
	ALT(GPT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルラクト500ml					補正
	LDH			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ゾカールン 500ml			高乳癌血症患者		補正
	r-GTP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		1%デヒリル注 50ml					
	ALP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		0.3%イノリンシリンジ 50ml					
AMY			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		イノリン400mg			IN症候群患者			
T-Bil			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生薬食塩水30ml						
D-Bil			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ベルシリン液					量は条件指参照	
CPK			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノボリンR 50単位			血糖管理が必要な患者 (糖尿病、高血糖)			
T-Chol			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生薬食塩水50ml						
TG			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ビクシリンG					12時間ごと	
UA			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生薬食塩水100ml						
BUN			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		セフトラキサム					12時間ごと	
Cre			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生薬食塩水100ml						
Na			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ヘパリン10000単位 (1万単位)			凝固関連薬注意患者群 (凝固異常、Budd-Chiari、肺動脈瘤)		血液製剤不適合移植	
K			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生薬食塩水35ml						
Cl			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		アルブミン製剤 (25%) 50ml					2V/3時間	
Ca			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノイアート			AT値80%以下 凝固関連薬注意患者群 (凝固異常、Budd-Chiari、肺動脈瘤) 血液製剤不適合移植			
CRP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		HBIG1万単位			HBV患者		3PODまで連日	
TBA			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		メイロン (8.4%)						
INR			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノブ						
BS			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		5%ぶどう糖液50ml (bAMP用)						
BZMG	シャント形成患者		連日		ラシックス					静注	
薬物血中濃度 (FK/CyA)			14PODまで連日		ソルラクト500ml				ラインキープ用 (SG、門脈カテーテルなど)		
プロトロンビンは時間 (PT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ヘパリン1000U						
活性ドロンボラスチン時間 (APTT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		チューブ関連						
アプタドロンビンは時間 (ATTI)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		挿管チューブ位置決定						
感応度スクリーニング (1-3) βDグルカン			新前高値症例は連日、その後連日1回		経腸栄養チューブ位置決定						
HCV-RNA	HCV患者		1回		SGカテ位置決定						
					門脈カテ位置決定					挿管ラインを含めライン管理	
					動脈カテ位置決定						
					SGカテ抜き					3POD	
					門脈カテ抜き					7POD	
					動脈カテ抜き					14POD	
					カテチーテル関連						
					CVカテ交換/刺し替え (18G single or double or triple)					一週間ごと	
					腫瘍ドレーン抜き						
					胸水ドレーン抜き					500ml/日以下で抜き	
					胸水ドレーン挿入 (18G single)					性状確認目的 その後貯留がないと考える場合 忌感液性でドレーン置留がリスキーである場合	
					腫瘍ドレーン挿入 (18G single)					性状確認目的 その後貯留がないと考える場合 忌感液性でドレーン置留がリスキーである場合 腫瘍症状がある場合	
					赤血球MMP					貧血のある患者 (Hb<8)	
					凍卵					凍卵	
					FFP					高度凝固異常により出血の危険性が ある患者 (PT-INR>3)	
					血小板					血小板減少により出血の危険性が ある患者 (PLT<30000)	
					凝固因子					特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
					安静					安静	
					挿管内フロー						
					体温測定						
					呼吸測定						
					D-Na指示						
					IN-OUT/ランス測定						
										シートこぼれた分、不感蒸散、100ml/日以下のN G量、一日3回未満の下痢量は含めず	
										毎日3時	
										2時間ごと	

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-16)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手続・器材	時間回数指定		実施条件	手続・器材	時間回数指定
血算	WBC			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	栄養	飲水	飲水開始初日は一日500mlまで、その後フリー
	RBC			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		加糖食	流動から開始、状態に応じてUP可
	Hb			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	内服・外用	パワフルド錠0.5mg	NG or 経腸栄養チューブから挿入
	Hct			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		GE60ml	一日使が出なかった場合翌日午前中に
	PLT			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルテム3A 500ml ×4(5)本/日	
	Rst			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A×2/日	
	血液像			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクライトMg (20ml) 1A×1/日	
	TP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ガスター(2ml) 1A×2/日	
	Alb(A/G比)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		KNAA 500ml×4(5)本/日	腎機能異常患者群 (高血しょう、腎不全)
	ChE			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A×2/日	腎機能異常患者群 (高血しょう、腎不全)
生化学	AST(GOT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		コンクライトMg (20ml) 1A×1/日	腎機能異常患者群 (高血しょう、腎不全)
	ALT(GTP)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ガスター(2ml) 1A×2/日	腎機能異常患者群 (高血しょう、腎不全)
	LDH			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ハイカルクRF 250ml×1	腎機能異常患者群 (高血しょう、腎不全)
	γ-GTP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		10% NaCl	腎機能異常患者群 (高血しょう、腎不全)
	ALP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	注射	フルカルク×2 (1号→2号→3号)	長期休止患者
	AMM			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ガスター(2ml) 1A×2/日	長期休止患者
	T-Bil			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		エレシムシク	長期休止患者
	D-Bil			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ゲーツAMM注	長期休止患者
	CPK			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ソルテム500ml	補正
	T-Chol			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ピカーボン 500ml	高乳酸血症患者
凝固系	PT			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		1%チアプリン注 50ml	補正
	APTT			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		0.3%イノシリンシジ 50ml	
	BUN			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		イノリン400mg	INを抑えたい患者
	Cre			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水30ml	
	Na			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ペルジピン溶液	量は条件付指示参照
	K			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ノボリンR 50ml	血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)
	Cl			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水50ml	
	Ca			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		ピクシリン1g	12時間ごと
	CRP			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水100ml	
	TBA			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		セオタックス1g	12時間ごと
感染リスク リーニング	NH3			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		生理食塩水100ml	
	BS			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		へリリン10000単位(1万単位)	凝固関連注意患者群(凝固異常、Bud-Chan、採精患者) 血液型不適合移植
	B2MG	シャント形成患者		週1回		生理食塩水35ml	
	薬物血中濃度(FK、O <sub>2</sub> A)			14PODまで連日		アルブミン製剤(25%)50ml	2V/3時間
	プロトロンビン時間(PT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日	輸注注射薬	ノイアート	ATB80%以下 凝固関連注意患者群(凝固異常、Bud-Chan、採精患者) 血液型不適合移植
	活性トロンボプラスチン時間(APTT)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		HBIG1万単位	HBV患者
	アンチトロンビンIII (ATIII)			3PODまで一日2回、その後14PODまで連日		メイロン(8.4%)	
	(1-3)βDグルカン	術前高値症例は適宜、その後週1回				ハンブ	
	HCV-RNA	HCV患者		1回		5%ぶどう糖液50ml (h-AMP用)	
	PdP2			一日2回		シラックス	静注
血液ガス	PdCO2			一日2回		ソルテム500ml	ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)
	pH			一日2回		へリリン1000U	
	BE			一日2回		腫瘍マーカー検査決定	
	ラクテート			一日2回		経腸栄養チューブ位置決定	
	AFP	HCC患者			検査	SGカテ除去	3POD
	PIVKA-II	HCC患者				門脈カテ除去	7POD
	CD20	血液型不適合移植		1POD、7POD		動脈カテ除去	14POD
	抗A抗体	血液型不適合移植		10PODまで連日		CVカテ交換/刺し替え (16Gsingle or double or triple)	一週間ごと
	抗B抗体	血液型不適合移植		10PODまで連日		腹腔ドレーン除去	
	HBs定量	HBV患者		3PODまで連日	検査	胸水ドレーナージ	500ml/日以下で除去 性状確認目的 その後貯留がないと考える場合 腸感症でドレーン留置がリスクである場合
尿	U-Cr(24hr)	シャント形成患者		週1回		腹腔ドレーナージ	腸感症でドレーン留置がリスクである場合 腹部症状がある場合
	U-Na(24hr)	シャント形成患者		週1回		透析設定	
	U-β2MG	シャント形成患者		週1回		赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)
	U-NAG	シャント形成患者		週1回		FPP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者 (PT-INR>3)
	Ccr	シャント形成患者		週1回		血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者 (PLT<30000)
生理機能検査	ドップラーエコー			朝		凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者
	放射線検査	胸部Xp	ポータブル			安静度	病棟内フリー
	腹部Xp	ポータブル				Dr-Na指示	体重測定 尿量測定 IN-OUT/バランス測定
							シーツにばれた分、不感蒸散、100ml/日以下のN/G量、一日3回未満の下痢量は含めず

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-17)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	加熱滅菌後の飲み物		飲水開始初日は一日500mlまで、その後フリー	
	RBC		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回		グループA、B、C、注か注野中・湯田、加熱滅菌後の牛乳はOK、差し入れも電子レンジで温めれば食べてOK		
	Hb		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	加熱済		流動から開始、状態に応じてUP可	
	Hct		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	パラケトール錠0.5mg	HBV患者	NG or 経腸栄養チューブから挿入	
	PLT		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	GE60ml		一日使が出なかった場合翌日午前中に	
	Ret		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	バクテ1T 期一回			7POD～術後1年目まで
	赤芽性		14POD以降は必要時のみ	カルシウム0.5T 分3 食後			7POD～術後1年目まで
	TP		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ガスターOD錠(20mg) 2T 分2 食後			7POD～術後1年目まで 7PODから開始 プレドニゾンが0.1mg/kg/日になったら一日一錠 プレドニゾン中止でガスターも中止
	AMA/GBT		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ワーファリン0.5T 分1 夕			2mg/日まで増量 APTT2-2.5目標
	CRE		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ソルテム3A 500ml x 4回/日	CVから末梢へ変えた場合		
AST/GOT		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ガスター(2ml) 1A x 2/日			7PODまで	
ALT/GTP		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ソルラクト500ml				
LDH		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ゾボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	皮下注射へ変更		
γ-GTP		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	生糖液増量50ml				
ALP		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、肺動脈塞)	血液型不適合移植		
AMY		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	生糖液増量35ml				
T-Bil		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	アルブミン製剤(25%) 50ml			2V/3時間	
D-Bil		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ノイアト	ATB80%以下 凝固関連注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、肺動脈塞) 血液型不適合移植			
CPK		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	テックス		静注		
T-Chol		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ソルラクト500ml			ラインキープ用(6回、門脈カテーテルなど)	
TG		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回	ヘパリン1000U				
UA		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
BUN		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
Cre		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
Na		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
K		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
Cl		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
Ca		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
CRP		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
TBA		14POD以降は必要時のみ					
NSI		14POD以降は必要時のみ					
BS		14PODまで連日、21 PODまで連3回、28 PODまで連2回、その後1回					
BSMC	シャント形成患者						
異物血中濃度(FK/CJA)		14PODまで連日					
凝固系	プロトロンビンは時間(PF)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日				
	活性プロトロンプテスト時間(APTT)		3PODまで一日2回、その後14PODまで連日				
アンチロトロンビンは(ATB)		14PODまで連日、14POD以降は必要時のみ					
感染性スクリーニング	(1-3)βDGalカン		術前高値症例は連査、その後連1回				
	HCV-RNA	HCC患者	1回				
腫瘍マーカー	AFP	HCC患者	月1回				
	BEVKA-II	HCC患者	月1回				
特殊検査	CD20	血液型不適合移植	1POD、7POD				
	抗A抗体	血液型不適合移植	10PODまで連日				
	抗B抗体	血液型不適合移植	10PODまで連日				
	抗D抗体	血液型不適合移植	3PODまで連日				
尿	U-Cr(24h)	シャント形成患者	連1回				
	U-Na(24h)	シャント形成患者	連1回				
	U-β2MG	シャント形成患者	連1回				
	U-NAG	シャント形成患者	連1回				
	Cr	シャント形成患者	連1回				
生糖液検査	ドンブラーエコー		期、14POD以降連査				
放射線検査	造影剤CT	HCC患者 シャント症例	28POD				
検査				検査			
				検査			
				検査			
				検査			
				検査			
				検査			
				検査			
				検査			
				検査			
				検査			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-18)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	栄養	加熱減量後の飲み物		
	RBC		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		加糖食	フリー	
	Hb		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		パテクルド錠0.5mg	HBV患者	
	Hct		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		GEROml	NG or 経腸栄養チューブから挿入	
	PLT		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		バクタイT 解一固	一日寝が出なかった場合翌日午前中に	
	Ret		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		ウルソ100mg6T 分3 食後		7POD～前後1年目まで
生化学	TP		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	内服・外用	ガスターOD錠(20mg) 2T 分2 食後		7POD～前後1年目まで
	AlbA/G比		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		フーフリン0.5T 分1 迄		7POD～前後1年目まで
	AST(GOT)		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		コクケル		7PODから開始 プレドニゾンが
	ALT(GPT)		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		ロネソロン		0.1mg/kgになったら 1日一錠 プレド
	γ-GTP		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		FK506錠、0.5mgなど微調整用		ニゾン中止でガスターも中止
	AMY		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		フルゼニド		2mg/日まで増量 APTT2-2.5目標
	T-Bil		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	薬服	制酸剤		
	D-Bil		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		チューブ再固定		
	BUN		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	安静度	試験外許可		
	Cre		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		フリー		
	Na		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		家での生活指導(患者ダイアリー)の記入方法 法説明含む)		
	K		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		緊急時の対応		
Cl		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回		食事指導			
CRP		21PODまで週3回、28PODまで週2回、その後週1回	患者教育	薬剤指導			
感染症スクリーニング				チューブ、創部、ストマ管理			
				家への教育			
腫瘍マーカー	HCC患者		月1回	今後の外来計画			
	PRVKA-II	HCC患者	月1回	他科診療の計画			
放射線検査	HCC患者 シヤント感例			退院処方			
				退院検査書(紹介元病院へ)			
				外来予約			
				退院療養計画書			
				退院手続き			
				診断書			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-20)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC		7PODまで一日1回	栄養	飲水		
	RBC		7PODまで一日1回		肝機能障害食		
	Hb		7PODまで一日1回		HBV患者	HBV患者	HBV患者
	Hct		7PODまで一日1回	内服・外用	GE60ml		
	PLT		7PODまで一日1回		ソルダム3A 500ml ×4(5)本/日		
	Ret		7PODまで一日1回		補正用塩化カルシウム液 (20ml) 1A × 2 / 日		
	血液像		7PODまで一日1回		ソルダクト500ml		
	TP		7PODまで一日1回		ビカーポン 500ml		高乳酸血症患者
	Ab(A/G比)		7PODまで一日1回		0.3%イノパンシリンジ 50ml		
	CHE		7PODまで一日1回		イノパン400mg		INを抑えたい患者
AST(GOT)		7PODまで一日1回	生理食塩水30ml				
ALT(GTP)		7PODまで一日1回	ペルシリン原液		星は条件付指示参照		
生化学	LDH		7PODまで一日1回	注射	メボリンR 50単位		血糖管理必要患者群 (糖尿病、高血糖)
	r-GTP		7PODまで一日1回		生理食塩水50ml		
	ALP		7PODまで一日1回		ビクシリン1g		12時間ごと
	AMY		7PODまで一日1回		生理食塩水100ml		
	T-Bil		7PODまで一日1回		セフォタキシム		12時間ごと
	D-Bil		7PODまで一日1回	生理食塩水100ml			
	TC		7PODまで一日1回	アルブミン製剤(25%) 50ml		2V/3時間	
	UA		7PODまで一日1回	ラシックス		静注	
	BUN		7PODまで一日1回	ソルラクト500ml		ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)	
	Cre		7PODまで一日1回	ヘパリン1000U			
凝固系	Na		7PODまで一日1回	処置	SGカチ抜き		
	K				動脈圧カチ抜き		
	Ca				CVカチ交換/刺し替え (1EGsingle or double or triple)		一週間ごと
	Cl				腹膜ドレーン抜き		500ml/日以下で抜き
	CRP				赤血球MAP		貧血症のある患者(Hb<8)
	INR			FFP		高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR:3)	
	BS			血小板		血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)	
	プロトロンビン時間(PT)			凝固因子		特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
	活性ドロンボプラステン時間(APTT)			安静度	病棟内フリー		
	アンチトロンビンIII (ATIII)						
血液ガス	PaO2			Dr→Ns指示	体重測定		毎朝8時
	PaCO2				尿量測定		4時間ごと
	pH				IN-OUT/バランス測定		シーツこぼれた分、不感蒸散、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず
	BE						
	ラクテート						
	生理機能検査						
	放射線検査						
	胸部Xp		ポータブル				
	腹部Xp		ポータブル				

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(A-21)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
血算	WBC		7PODまで一日1回、その後週2~1回	栄養	飲水		
	RBC		7PODまで一日1回、その後週2~2回		肝機能障害食		
	Hb		7PODまで一日1回、その後週2~3回		HBV患者	HBV患者	HBV患者
	Hct		7PODまで一日1回、その後週2~4回	内服・外用	GE60ml		
	PLT		7PODまで一日1回、その後週2~5回		ソルダクト500ml		補正
	Ret		7PODまで一日1回、その後週2~6回		ソルダム3A 500ml ×4(5)本/日		
	TP		7PODまで一日1回、その後週2~7回		アルブミン製剤(25%) 50ml		2V/3時間
	Ab(A/G比)		7PODまで一日1回、その後週2~8回		ラシックス		静注
	AST(GOT)		7PODまで一日1回、その後週2~9回		抜指		遠隔野に
	ALT(GTP)		7PODまで一日1回、その後週2~10回		CVカチ交換/刺し替え (1EGsingle or double or triple)		一週間ごと
r-GTP		7PODまで一日1回、その後週2~11回	腹膜ドレーン抜き		500ml/日以下で抜き		
AMY		7PODまで一日1回、その後週2~12回	輸血	赤血球MAP		貧血症のある患者(Hb<8)	
T-Bil		7PODまで一日1回、その後週2~13回		FFP		高度凝固異常により出血の危険性がある患者(PT-INR:3)	
D-Bil		7PODまで一日1回、その後週2~14回		血小板		血小板減少により出血の危険性がある患者(PLT<30000)	
BUN		7PODまで一日1回、その後週2~15回		凝固因子		特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者	
Cre		7PODまで一日1回、その後週2~16回		安静度	病棟内フリー		
生化学	Na		7PODまで一日1回、その後週2~17回	Dr→Ns指示	体重測定		毎朝8時
	K		7PODまで一日1回、その後週2~18回		尿量測定		8時間ごと
	Ca		7PODまで一日1回、その後週2~19回		IN-OUT/バランス測定		シーツこぼれた分、不感蒸散、100ml/日以下のNG量、一日3回未満の下痢量は含めず
	Cl		7PODまで一日1回、その後週2~20回				
	CRP		7PODまで一日1回、その後週2~21回				
	BS		7PODまで一日1回、その後週2~21回				
	プロトロンビン時間(PT)		7PODまで一日1回、その後週2~22回				
	AFP	HCC患者		月1回			
	腫瘍マーカー	HCC患者		月1回			
	PIVKA-II	HCC患者		月1回			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(B-1)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
生化学	(1-3)β DG			抗結核薬	リファンピシム イソニアジド	要検討(肝障害) (結核治療ガイドライン参照)	
血液ガス	QFTテスト/ツ反				ビラジナミド		
	PaO2		HPS s/o症例は臥位・立位ともに測定。SpO2も同時に測定。		エタンブトール		
	pH			肺高血圧改善薬	ラシックス 経口プロスタグランジン12誘導体	(肺高血圧治療ガイドライン2006参照)	
	BE			抗結核薬	ストレプトマイシン		
生理機能検査	ラクテート			抗真菌薬	ジフルカン ファンギゾン		
	ホルター心電図						
	トレッドミル負荷心電図			肺高血圧改善薬	ラシックス プロスタグランジン12	(肺高血圧治療ガイドライン2006参照)	
放射線検査	造影胸部CT			処置	胸水穿刺/ドレナージ		
細菌検査	痰		塗抹、PCR (TBガイド参照)	安静度	病院内はフリー、外出外泊不可		
	血液			入浴	カデ・チューブ確保してシャワーのみフリー		
				書類関連	胸水ドレナージ説明・同意書 造影胸部CT説明・同意書		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(B-2)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
生理機能検査	腹部エコー			抗生剤	セフォタックス	SBP治療第一選択薬	
病理検査	腹水細胞診			補液	ソルラクト	腹水に対する補正が必要な患者	
	血球分画	腹水穿刺・ドレナージ中患者 SBP1クール終了患者 抗生剤治療に抵抗性のあるSBP患者		処置	腹水穿刺、ドレナージ		必要時
細菌検査	腹水培養(細菌)	腹水穿刺・ドレナージ中患者 抗生剤治療に抵抗性のあるSBP患者			腹水ドレナージチューブ入れ替え	腹水ドレナージ中患者で入れ替え必要時	
	腹水培養(真菌)	腹水穿刺・ドレナージ中患者 抗生剤治療に抵抗性のあるSBP患者		書類関連	腹水穿刺同意書	(肺高血圧治療ガイドライン2006参照)	

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(B-3)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
生理機能検査	ドップラーエコー		血管浸潤 and リンパ節評価	栄養	食事		
放射線検査	造影頭部CT				造影CT検査		検査前1食から絶食
	造影胸部CT		A1で撮影済みの場合スキップ	骨シンチ		骨シンチ検査中(4時間程度)	
	腹部MRI			頓用注射薬	ソルラクト		CT用
	骨シンチグラフィ				ソルデム3A	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)	CT用
PET				ノボリン4単位			
				書類関連	造影CT撮影同意書		
					MRI撮影同意書		
					骨シンチ同意書		
					PET同意書		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(B-4)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
生理機能検査	バブル心エコー			書類関連	肺血流シンチ説明・同意書		
放射線検査	肺血流シンチ			Dr→Ns指示	移植可能というようになったら、ADLについての綿密なアナムネを。移植後の呼吸苦の改善のコントロールとなります。		
					チアノーゼ バチ指 平坦な道～分歩ける 階段何段一気に上がれる 学校での生活 家での生活 自転車こげる 低酸素血症の症状(頭痛etc)		



表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(B-5)

検査	コメント内容			治療	コメント内容				
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定		
血算	WBC			栄養	絶飲食				
	RBC				アミノレバン				
	Hb				インバクト				
	Hct				ハイカリックRF	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)			
	PLT				10%NaCl	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)			
	Ret				フルカリック				
生化学	血液像				ハイカリック		心不全時		
	TP			注射	アミノレバン				
	Alb(A/G比)				50%Tz				
	CHE				エレメンミック				
	AST(GOT)				オーツカMV注				
	ALT(GTP)				1%デトキシリン注 50ml				
	LDH				0.3%イソバンリンジ 50ml				
	r-GTP				ベルジピン原液		量は条件付指示参照		
	ALP				ノボリンR 50単位	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)			
	AMY				生理食塩水50ml				
	T-Bil				マキシベーム	胆汁移行			
	D-Bil				生理食塩水100ml				
	CPK				セフォタックス1g	腹水移行			
	T-Chol				生理食塩水100ml				
	TG				ヘパリン10000単位(1万単位)	凝固関連要注意患者群(凝固異常、Budd-Chiari、脾摘患者) 血液型不適合移植			
	UA				生理食塩水35ml				
	凝固系	BUN				頓用注射薬	アルブミン製剤		
		Cre					K2N		
Na					ランックス				
K				メイロン					
Cl				ハンフ					
Ca				ソルラクト500ml			ラインキープ用(SG、門脈カテーテルなど)		
CRP				ヘパリン1000U					
NH3				腹水穿刺、ドレナージ	腹水貯留患者				
BS				胸水穿刺、ドレナージ	胸水貯留患者				
Endotoxin quantitative				CVカテーテル挿入	高カロリー輸液必要患者 CVカテ必要患者				
(1-3)β DG				尿道バルーンカテーテル挿入	尿量測定必要患者				
OMVアンテゲネミア				NGチューブ挿入	気管挿管患者 イレウス患者 経管栄養必要患者				
プロトロンビン時間(PT)				スワンガンツカテーテル挿入	心肺系モニター必要患者				
活性トロンボプラスチン時間(APTT)				Aライン挿入	バイタル不安定患者 挿管患者				
アンチトロンビンIII (ATIII)				挿管	呼吸不全患者 意識障害患者				
Fig				クイントンカテーテル	透析患者 血漿交換 人工肝必要患者				
FDP				PCPSカテーテル挿入術	PCPS必要患者				
D-Dimer				CHDF	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)				
血液ガス	PaO2			HD	腎機能異常患者群(高K血しょう、腎不全)				
	PaCO2				血しょう交換	高度凝固異常 肝不全患者 肝性脳症患者			
	pH			輸血	赤血球MAP	貧血症のある患者(Hb<8)			
	BE				FFP	高度凝固異常により出血の危険性がある患者 (PT-INR>3)			
	ラクテート				血小板	血小板減少により出血の危険性がある患者 (PLT<30000)			
	尿	尿定性、沈査			凝固因子	特定凝固因子欠損により出血の危険性がある患者			
U-Cr(24hr)			リハビリ	手術前リハビリ					
U-Na(24hr)			安静度	ベッド上安静	CHDF 血漿交換中患者 軽度脳症患者				
Ccr				絶対安静	挿管中患者				
放射線検査	胸部Xp		入浴	洗髪のみOK					
	臥位								
	腹部Xp								
	臥位								

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(C-1)

治療		コメント内容		
		実施条件	手段・器材	時間回数指定
栄養	経腸栄養			
	5%ブドウ糖液 250ml	腸蠕動音聴取あり		
内服・外用	大健中湯 6包分3		20ccのお湯で溶かして注入(用法)	
処置	経腸チューブ初回投与確認			
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可			
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥			
	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。			
Dr→Dr指示	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始			
	メイン輸液は原則同量で継続			
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める			
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(C-2)

治療		コメント内容		
		実施条件	手段・器材	時間回数指定
栄養	経腸栄養			
	エレンタール1包をお湯で溶かし全量600mlにする(だいたい540mlのお湯で溶かす)	腸蠕動音聴取あり		
	エレンタール1包をお湯で溶かし全量300mlにする	エレンタールハーブで腹痛・下痢なし		
内服・外用	エレンタール80g 大健中湯 6包分3		20ccのお湯で溶かして注入(用法)	
処置	チューブ再固定			
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可			
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥			
	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。			
Dr→Dr指示	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始			
	エレンタールハーブ開始後and経口摂取が開始されていればメインは時間量-20ml、-30ml、-40mlで継続 or 経口摂取開始されていなければメインは時間量-10ml、-20ml、-30mlで継続			
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める			
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放			
	インスリン持続投与中は増量して継続			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(C-3)

治療		コメント内容		
		実施条件	手段・器材	時間回数指定
栄養	経腸栄養	1. エレンタール1包をお湯で溶かし全量300mlにする	経腸栄養問題なし and 経口摂取良好	40ml/hrで12時間投与(総量480ml、480kcal/day)
		2. メディエフソイバッグ300ml	経腸栄養問題なし and 経口摂取1/2	メディエフソイバッグ300ml×2/day、40ml/hrで開始し50ml/hrまでUP、6時間づつ投与、間6時間あける(総量600ml、600kcal/day)
		3. メディエフソイバッグ400ml	経腸栄養問題なし and 経口摂取1/3	メディエフソイバッグ400ml×2/day、40ml/hrで開始し50ml/hrまでUP、8時間休止(総量800ml、800kcal/day)
		4. エレンタール1包をお湯で溶かし全量300mlにする	経腸栄養問題なし and 経口摂取1/3 and 経腸栄養時間量増量不可能	30ml/hrで12時間投与(総量360ml、360kcal/day)
内服・外用	エレンタール80g 大健中湯 6包分3		20ccのお湯で溶かして注入(用法)	
処置	大健中湯 3包分3 チューブ再固定	1、2、3の場合内服へ変更		
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可			
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥			
	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。			
Dr→Dr指示	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始			
	メイン40ml/hr以下の場合and(末梢のみでいける場合は経時的に減量の上終了or補正が1000ml/day以上の場合メイン中止orCV必要な場合で補正1000ml/day以下はメイン維持して補正終了)			
	メイン40ml以上の場合and(4のとき経口摂取増量までメインを維持or 3のときメイン減量)			
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める			
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放			
	インスリンを皮下注射へ移行			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(C-4)

治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定
栄養	経腸栄養		
	エレンタール1包をお湯で溶かし全量600mlにする(だいたい540mlのお湯で溶かす)		10ml/hr(総量240ml、120kcal/day)から開始
	ラコール		10ml/hrから開始
内服・外用	エンシュアリキッド		10ml/hrから開始
	エレンタール80g		
	ラコール		
処置	エンシュアリキッド		
	チューブ再固定		
Dr→Ns指示	経腸栄養AI-in-oneのものは24時間使用可		
	経腸栄養ボトルを使用するものは連続使用の場合は最大24時間まで可(継ぎ足し可)、間欠的投与の場合は残捨てのち洗浄(ミルトン)・乾燥		
	経腸栄養チューブは大建中湯投与後と栄養剤投与後は20ccのお湯でゆっくりフラッシュ。		
Dr→Dr指示	経口摂取の開始にかかわらず経腸栄養を開始		
	エレンタールで下痢の場合ラコールエンシュアを開始or(メディエフで下痢の場合ラコールエンシュアを開始orエレンタールハーブに戻す)or蠕動痛によるもの場合大建中湯を中止。		
	下痢時は経腸栄養中止、チューブクランプののち補正に下痢量を含める		
	腹痛出現時は経腸栄養中止ののちチューブ開放		
	インスリン持続投与中は増量して継続		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(D-1)

治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定
内服・外用	プログラフ ( )mg × 2		14PODまでトラフ10前後でコントロール 12を超えたら一回内服スキップ 15POD以降はトラフ8前後でコントロール 9時21時 1POD9時より1mg/回で開始
	シクロスポリン ( )mg × 1 9時	GRWR<0.8%症例&覚醒遅延症例&術前の感染症合併症例&BW<40kg症例	14PODまでトラフ10前後でコントロール 12を超えたら一回内服スキップ 15POD以降はトラフ8前後でコントロール 9時21時 0.5mg/回から開始
	ブレドニン5mg ( )T 朝一回	FK内服できない症例	8mg/kg/dayで開始 0.3mg/kg 8POD~28PODまで 0.1mg/kg 術後3ヶ月目まで その後中止、パルス中は中止
	MMF250mg	腎機能不全患者	2T分2朝ター→3T分3朝ター→4T分2朝ター→6T分3朝ター→8T分2朝ターと増量可
	アザチオプリン ( )mg × 1 朝 1mg/kg/day	血液型不適合移植	8PODから開始
注射	ソルメドロール		1mg/kg 1POD, 2POD, 3POD 0.5mg/kg 4POD 5POD 6POD 0.3mg/kg 7POD
	生理食塩水100ml		朝、1時間で
	エンドキサン100mg	血液型不適合移植	2mg/kg/day、7PODまで
	生理食塩水100ml		朝、1時間で
	動脈カテーテルより(旧プロトコール)		
	プロスタグランジンE1		0.01γ 7PODまで
	5%ブドウ糖50ml		
	ヘパリン10000単位(1万単位)		14PODまで
	生理食塩水50ml		
	ソルメドロール 125mg		2ml/hr、7PODまで
	生理食塩水50ml		
ソルメドロール 50mg		2ml/hr、14PODまで	
生理食塩水50ml			
血漿交換	血漿交換 FFP40単位	IgG titerが前日の4倍以上	14POD以内

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(E-1)

治療		コメント内容			
		実施条件	手段・器材	時間回数指定	
Dr→Ns指示	離床は1ギヤッジアップ(側臥位含む) 2、座位 3、立位 4、歩行の順でUP可	挿管中	1まで可		
		気管切開中	2まで可		
			無気肺による腹臥位はそのつどDrに確認		
		BiPAP中	2まで可		
		FVよりHD中	臥床で手の屈伸のみ		
		IJよりHD中	2まで離床可		
抜管後でHDない症例	4まで順次UP可(Aライン、CVラインなどにかかわらず)				

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(E-2)

		コメント内容		
治療		実施条件	手段・器材	時間回数指定
書類関連	PTリハビリテーション申込書			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-1)

		コメント内容			コメント内容		
検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定	治療	実施条件	手段・器材	時間回数指定
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		移植後1ヶ月目より1回術後1年間採血 or 移植後1ヶ月目より1回術後9ヶ月目まで採血 (FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)	内服・外用 ゾビラックス200mg 3T分3			食後、術後7日目より6ヶ月間内服

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-2)

		コメント内容			コメント内容		
検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定	治療	実施条件	手段・器材	時間回数指定
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		移植後1ヶ月目より1回術後1年間採血 or 移植後1ヶ月目より1回術後9ヶ月目まで採血 (FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)	内服・外用 ゾビラックス200mg 3T分3			食後、術後7日目より6ヶ月間内服

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-3)

		コメント内容			コメント内容		
検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定	治療	実施条件	手段・器材	時間回数指定
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		移植後1ヶ月目より1回術後1年間採血 or 移植後1ヶ月目より1回術後9ヶ月目まで採血 (FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合)	内服・外用 ゾビラックス200mg 3T分3			食後、術後7日目より6ヶ月間内服

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-4)

		コメント内容			コメント内容		
検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定	治療	実施条件	手段・器材	時間回数指定
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		移植後1ヶ月目より1回術後1年間採血 or IgG出現により、月一回術後9ヶ月目まで採血 (FKトラフ<8 and ステロイド内服なしの場合) 可	内服・外用 ゾビラックス200mg 3T分3			食後、術後7日目より6ヶ月間内服
	CMV-IgG (blood)		移植後1ヶ月目より3ヶ月に1回採血				

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-5)

		コメント内容			コメント内容			
検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定	治療	実施条件	手段・器材	時間回数指定	
血算	WBC		投与後翌日、それ以降必要時	内服・外用 ゾビラックス200mg 3T分3	ガンシクロビル治療中 ガンシクロビル治療後		中止	
	RBC		投与後翌日、それ以降必要時				内服再開(6ヶ月間継続)	
	Hb		投与後翌日、それ以降必要時	注射 デノシン 抗CMVグロブリン グラナ ソルラクト	5mg/kgを生理食塩水100mlに混注。一回投与は100ml/2hrで。	12時間ごと、14日間。次の7日間は24時間ごと7日間。	必要時	
	Hct		投与後翌日、それ以降必要時					
	PLT		投与後翌日、それ以降必要時				骨髄抑制時	
	RET		投与後翌日、それ以降必要時				腎機能障害併発時	
血液像		投与後翌日、それ以降必要時						
生化学	BUN		投与後翌日、それ以降必要時					
	Cre		投与後翌日、それ以降必要時					
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア		ガンシクロビル治療1クール終了後採血					

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-6)

		コメント内容			コメント内容			
検査	実施条件	手段・器材	時間回数指定	治療	実施条件	手段・器材	時間回数指定	
感染症スクリーニング	CMVアンチゲネミア			内服・外用 ゾビラックス200mg 3T分3	ガンシクロビル・フォスカネット治療中 ガンシクロビル・フォスカネット治療後		中止	
特殊検査	GCV耐性CMVウイルス検査			注射 デノシン 抗CMVグロブリン グラナ ソルラクト		5mg/kgを生理食塩水100mlに混注。一回投与は100ml/2hrで。	12時間ごと、14日間。次の7日間は24時間ごと7日間。耐性ウイルス株検出まで継続。	内服再開(6ヶ月間継続)
					必要時			
					骨髄抑制時			
					腎機能障害併発時			

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(F-7)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
免疫抑制剤濃度	CO	免疫抑制剤量変更前後で測定		内服・外用	プログラフ	F4からの患者 F123からの患者	トラフ<8にコントロール トラフ<8にコントロール
	C2	免疫抑制剤量変更前後で測定			シクロスポリン	F4からの患者	CO、C2測定の上コントロール領域再判断
	MMMF	免疫抑制剤量変更前後で測定			プレドニゾン	F123からの患者	0.3mg/kgで内服中は減量の上中止、0.1mg/kgで内服中は中止
	FK506	免疫抑制剤量変更前後で測定			MMF		減量 0.1mg/kg以下に減量

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(G-1)

治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定
書類関連	胆管造影申込書	G2移行予定患者	
	ドナー術中胆道造影XP		
	レシピアント術中、術後胆道造影XP		
指導、IC	胆管造影説明・同意書	G2移行予定患者	
胆管チューブ関連プロファイル	胆汁一日量		
	便色		
	臨床症状の有無(かゆみ、痛み、漏れ、クランプの有無、チューブ磨耗、チューブ位置変化、事故除去)		
	labo data (AST, ALT, T-Bil, rGTP)		
	手術からの日数		
	術後胆管チューブトラブルの有無		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(G-2)

検査	コメント内容			治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定		実施条件	手段・器材	時間回数指定
放射線検査	XTV	イオパミロン原液5~10cc		栄養	検査前1時間絶食	38.0度以上の発熱	絶食継続
	胆道造影	免疫抑制剤量変更前後で測定			注射	ソララクト セフメタゾン1gキット ソルデムGA ノボリンR 4U	血糖管理必要患者群(糖尿病、高血糖)
				処置	胆管チューブ チューブ位置		胆管チューブ 造影後開放
				胆管チューブ関連プロファイル	造影所見(ドナー胆管造影のうち欠損の有無、吻合部狭窄の有無、胆汁漏の有無、NAS所見の有無、総胆管狭窄の有無) 乳头機能 腸蠕動 チューブ外ろう機能(造影逆流の程度)		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(G-3)

治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定
処置	胆管チューブ		
指導、IC	胆管チューブ管理関連指導		

表5 ユニットシートのコメント情報を分類した結果(G-3)

治療	コメント内容		
	実施条件	手段・器材	時間回数指定
指導、IC	胆管チューブ管理関連指導		